「ハンドボールイヤーブック」目次

1987年(昭和62)度
(ハンドボール界の動き)

★男子第5回・女子第1回アジア選手権大会【兼ソウル・オリンピック・アジア予選】

8月20日から29日までヨルダン・アンマンに於て、男子11ヶ国・女子6ヶ国が参加して開催された。男女とももてる力を十分に使い果たして戦ったが残念ながら力及ばず、かつて日本が座っていたキング・クイーンの座を取り戻すことはできなかった。

しかし、男子はオリンピック開催国として強化が進んでいる韓国に前半を12—11とリードして終わったが惜しくも24—28で敗れた。近年、力を着けてきたクウェートとの対戦が開催国韓国を除くアジア代表の決定戦となった。前半を終わって12—12とまったくの互角、後半に入って13—11、結局25—23の僅差ではあったが勝利して2位を確保し待望のオリンピックへの出場権を獲得することができた。

女子は、選手権大会としては第1回の開催であった。世界の強豪と伍して戦う力を持つ韓国・中国を向こうに回しての戦いは苦しかった。初戦で韓国に大きく敗れ、残る中国との一戦にすべてを賭けて戦った。前半を11—12と中国がリード、後半を13—12と日本がとり延長戦にもつれこみ、第一延長戦を終わって6—6とまれにみる好ゲームを展開し第二延長戦にはいり1—4でついに刀折れ矢つきて敗れ3位となりオリンピック出場権を手に得ることはできなかった。

★その他の海外遠征

☆ナショナルチーム

ソウル・オリンピック、アジア予選を勝ち抜くことを目標にして競技力の向上を目指しての海外遠征を行なった。

男子：4月15～20日に開催された香港国際大会に参加し優勝、8月4日～10日に開催されたソウル国際大会にアイスランド、スウェーデンとともに参加し強化に努めた。

女子：5月4～16日に開催されたU.S.A.カップに西ドイツ、デンマークとともに参加し、西ドイツと引き分けたが4位であった。

☆ジュニア・ナショナル

男子：4月11～18日に台北において開催された中正カップに参加5位、世界ジュニア選手権大会アジア予選をソウルで韓国と戦ったが敗れ、本大会への出場はできなかった。

女子；男子とともに中正カップに参加3位、世界ジュニア選手権大会アジア予選を東京で中国台北と戦いアジア代表となり、デンマークに於て開催された世界選手権大会に出場したが15位であった。また、イタリアのインテラムニア・カップにも参加4位であった。

☆学生

第10回世界学生選手権大会は5月30日～6月8日までルーマニアにおいて開催され日本代表チームが参加し13位であった。優勝はルーマニアであった。優勝はルーマニアであった。

★国内開催の国際大会

☆ジャパン・カップ'87

日本ハンドボール協会創立50周年記念事業として東洋証券の協賛を得て、男子はロス・オリンピック金メダルのユーゴスラビア、銀メダルの西ドイツ

を、そして女子は世界の王者ソビエト、ロス・オリンピック銀メダルの韓国、躍進著しいアメリカを招いて開催された。

この開催の目的は、ｉ.世界のトップレベルにある強豪チームを招いて多くのハンドボール・ファンに本場のハンドボールを見てもらうこと、ii.オリンピック・アジア予選を控えて、ナショナルチームの競技力向上を目指すこと、iii.協会創立50周年を祝い、将来の発展を祈念する記念事業とすること、であった。東京、横浜、名古屋、大阪の各会場とも多数のファンを集め世界の頂点にあるチームのハンドボールを満喫し、とくに外国チーム間の対戦は画面を通してしか見ることのできなかった多くのファンにとって目の当たり展開する高度な技術、逞しい体力とスピードは深い感銘を与えた。

★国内大会

☆第39回全日本総合選手権大会

1987年度ナショナル・チャンピンを決定する第39回全日本総合選手権大会は、12月24日から27日までの４日間、東京・駒沢屋内球技場および駒沢体育館で開催された。

男子は、本田技研と湧永製薬が快勝戦に駒を進め、昨年と同じ対決となった。ゲームは、１点を争う激しい推移で展開されたが、わずかに高さとパワーに勝る湧永製薬がスピードとテクニックの本田技研を押えて昨年の雪辱を果たして２年ぶり10回目の王座についた。

女子は、準決勝で大崎電気対東京女子体育大学・日立栃木対大和銀行の対戦となった。昨年度学生チームとしては初のクィーンの座に着いた東京女子体育大学は大崎電気に大接戦の末敗れた。日立栃木は、後半に入って大和銀行に優位に立ち決勝戦に進出した。決勝戦では、日立栃木が17—10と大きくリード、結果が出たかに見えたが後半にはいって大崎電気は10分を過ぎるころ追いつき逆転、そのあと日立栃木の追撃を振りきって４年ぶり４回目のクイーンの座に着いた。

☆国民体育大会

一巡目の最後の国体として第42回国民体育大会秋季大会ハンドボール競技は、浦添市・東風平町・具志頭村の各会場で10月26日から30日までの５日間開催された。

全県参加の成年男子では、三重県〔本田技研鈴鹿〕が広島県〔湧永製薬〕を敗って優勝した。

成年女子では、大阪府〔大和銀行〕が熊本県〔立石電機山鹿〕を大きく敗って優勝した。

少年男子では、沖縄県〔沖縄選抜〕が強敵、愛知県を準決勝で大阪府を破って見事に優勝を果たした。少年女子でもまた沖縄県〔沖縄選抜〕は、準決勝で山口県に接戦したものの余裕をもった試合ぶりで勝進み優勝した。少年男女の優勝は特筆されるべき快挙であり、【海邦国体】に沖縄県の総合優勝をもたらした大きな力になった。

☆第12回日本リーグ

第12回日本リーグは、３月６日最終日を迎え、男子は湧永製薬が２年ぶり４回目、女子は大崎電気が２年ぶり３回目の優勝を飾った。

☆第11回全国高校選抜大会

３月24日から28日まで行なわれた，第11回全国高校選抜大会は，男子は横浜商工（神奈川），女子は名短大付（愛知）が共に３年ぶり２度目の優勝を飾った。

I　名簿編・役員

◇日本協会役員（昭和62・63年度）

・会長　斎藤英四郎（6選）

・副会長　荒川清美（3選）、渡辺和美（再）、盛田正明（初）

・顧問　鈴木達雄、平井富三郎、田村正衛、徳永陸繁、林達夫。

・参与　常松喬、岩野次郎、浜田義明、外山准二、阿部二郎、植村肇。

・専務理事　安藤純光（初）

・理事　大野金一、高田日呂美（62年8月まで）、滝口三郎、川上整司、伊藤和夫、北川勇喜、阿部徳之助、大塚文雄、西村亮治、清水正、光島磯雄、藤田八郎、山田稔、中沢重夫、佐野和夫、塩川安賢（62年9月から）～以上定員20名（含む会長、副会長）～

・参事　中村崇、森恭一、竹野秀輝、中根武彦、槇敏夫、河本武夫、柳井文治、富永劭。

・監事　松本重雄、都野雄二。

◇日本リーグ主要運営委員（昭和62・63年度）

・委員長　西村亮治。

・副委員長　寺垣俊彦、木野実。

◇日本協会審判審査委員（昭和62・63年度）

・委員長　藤田八郎

・委員　岡本克彰、狩野幸介、佐分正典、加藤雅之。

◇ナショナル・チーム

・男子監督　野田清

・女子監督　井薫（62年9月まで）、樫塚正一（63年2月から）。

・男子ジュニア監督、本田洋

・女子ジュニア監督、藤原侑（62年12月まで）。

◇日本体育協会評議員　安藤純光

◇日本オリンピック委員会委員　安藤純光

◇日本ユニバーシアード委員会委員　中沢重夫

◇日本体協競技力向上専門委員会委員　北川勇喜

◇日本体協国体競技運営専門委員会委員　安藤純光

〔参考〕

◇日本オリンピック委員会常任委員　荒川清美

◇日本体協学識経験評議員　荒川清美

◇日本協会事務局・事務局長　関口雄康、斉藤　博、清水雅子（日本リーグ）、菅野恵理。

◇全国評議員（昭和62・63年度）

松本博（北海道）、太田尚充（青森）、箱崎敬吉（岩手）、高橋善幸（宮城）、松田光雄（秋田）、五島訓二（山形）、

加藤岳郎（福島)、山内孝雄（茨城)、高橋隆夫（栃木)、高橋潔（群馬)、遠藤健次（埼玉)、浮谷貞雄（千葉)、塩川安賢（東京・62年8月まで)、岡村昭二（東京・62年9月から)、佐分正典（神奈川)、古屋正（山梨)、渡辺五郎兵衛（新潟)、柳沢民弥（長野)、金原至（富山)、村井輝邦（石川)、華立要（福井)、大橋昭重（静岡)、幸村稔（愛知)、鈴木義男（三重)、上妻忠夫（岐阜)、尾本和男（滋賀)、小西博喜（京都)、神田清（大阪)、三浦和夫（兵庫)、森田正英（奈良)、山田進（和歌山)、松原紀機（鳥取)、船江昭光（島根)、永井恒三郎（岡山）平田幸男（広島)、藤田信義（山口)、松原忠（香川)、佐藤公美（徳島)、高橋満年（愛媛)、酒井満（高知)、小袋是郎（福岡)、甲斐忠義（佐賀)、原田国男（長崎)、井薫（熊本)、福田稔（大分)、山田龍雄（宮崎)、堀之口貞男（鹿児島)、平仲孝栄（沖縄)、横地宇吉（全日本実連)、山田計(全日本教職員連)、久保義雄(全日本学連)、古庄昌雄（全日本自衛隊連)、三浦公（全国高体連ハンドボール部）～以上定員52名～

◇全国連盟主要役員（昭和62年度）

▽全日本実業団連盟・会長　渡辺和美・理事長　竹野奉昭

▽全日本教職員連盟・会長　山田計・理事長　柳井文治

▽全日本学生連盟・会長　米倉功・理事長　中沢重夫

▽全日本自衛隊連盟・会長　江藤淳雄、理事長　富永劭

▽全国高体連ハンドボール部・部長　佐野和夫、副部長　伊藤和夫、三浦公、日野博。

◇国際ハンドボール連盟主要役員

・会長　エルビン・ラン（オーストリア）

・首席副会長　ウラジミール・クリフコフ（ソ連）

・次席副会長　アルベルト・ド・サンロマン（スペイン）

・大陸代表副会長　ババカール・フォール（セネガル)、ワルター・シュエドヘルム（メキシコ)、シエイク・アル・サバハ（クウエート）

・専務理事　マックス・リンケンバーガー（西独）

・経理理事　レイモン・アン（フランス）

・理事　ハインツ・ザイラー（東独)、オットー・シュワルツ（スイス)、クリストフ・ヤポ（アイボリー・コースト)、エリック・エリアス（スウェーデン)、コンセット・ロ・ベロ（イタリア)、モハムド・アリ・アブール（バーレーン)、イオン・クンスト・ゲルマネク（ルーマニア)、イストハン・マダラス（ハンガリー)。

・監事　渡辺和美（日本)、アルバート・ジョルダン（スイス）

◇アジアハンドボール連盟主要役員

・会長　シエイク・ファヒド・アル・アーマド・アル・サバハ(クウェート)

・首席副会長　モハムド・アリ・アブール（バーレーン）

・次席副会長　夏朗（中国）

・専務理事　シャイド・アバル・ハッサン（パキスタン）

・経理理事　ファリド・アル・アジール（クウェート）

・理事　荒川清美(日本)、アーマド・アル・フルダン（アラブ首長国連邦)、モニル・H・ボルー（パレスチナ)、フランシス・ホー（ホンコン)、金宗河（韓国)、モハメッド・N・アル・ノアイミ（カタール）

〔参考〕レフエリー・ソサイエテイ委員　大塚文雄（日本）

◇国際ハンドボール連盟加盟国100ヶ国（仮加盟国2ヶ国を含む）

◇アジアハンドボール連盟加盟国21ヶ国

II　名簿編・代表選手

◇昭和62年度「男子」ナショナルチーム

〈GK〉

○□井藤　英忠（湧永製薬）
○□矢内　　浩（大崎電気）
□上村　幸彦（大同特殊鋼）
秋吉　哲男（大同特殊鋼）

○□橋本　行弘（本田技研鈴鹿）

〈FP〉

○□奥田　新治（湧永製薬）
○□玉村　健次（湧永製薬）
○　荷川取義浩（湧永製薬）
○□酒巻　清治（湧永製薬）
□檜原　隆雄（湧永製薬）
○□立木　浩二（本田技研鈴鹿）
○□田口　　隆（本田技研鈴鹿）
山村　敏之（本田技研鈴鹿）
藤井　孝一（本田技研鈴鹿）
□内藤　裕治（本田技研鈴鹿）
○□首藤　信一（大崎電気）
○□宮下　和広（大崎電気）
○　山本　興道（大崎電気）
○□高村　誠一（大同特殊鋼）
□市川　　修（大同特殊鋼）
○□朝生　和光（山梨教員一大同特殊鋼）
○□西山　　清（日新製鋼）
○□藤井　　泉（日新製鋼）

・○印は第5回アジア選手権代表

・□印は第6回世界選手権Bグループ代表

◇昭和62年11月発表の「ソウル・オリンピック候補選手、24名）

〈GK〉

井藤　英忠（湧永製薬）
矢内　　浩（大崎電気）
橋本　行弘（本田技研鈴鹿）
秋吉、哲男（大同特殊鋼）

〈FP〉

奥田　新治（湧永製薬）
玉村　健次（湧永製薬）
荷川取義浩（湧永製薬）
酒巻　清治（湧永製薬）
立木　浩二（本田技研鈴鹿）
田口　　隆（本田技研鈴鹿）
山村　敏之（本田技研鈴鹿）
藤井　孝一（本田技研鈴鹿）
首藤　信一（大崎電気）
宮下　和広（大崎電気）
山本　興道（大崎電気）
長沢　純平（日　体　大）
斉藤慎太郎（日　体　大）
明石　康宏（日　体　大）
西山　　清（日新製鋼）
藤井　　泉（日新製鋼）
高村　誠一（大同特殊鋼）
朝生　和光（大同特殊鋼）
名取　一成（大同特殊鋼）
福村　正己（大阪体大）

◇昭和62年度「女子」ナショナルチーム

〈ＧＫ〉
○葛生　豊子（日立栃木）
○小深田由紀子（ジャスコ）
○村山みどり（東女体大）
〈ＦＰ〉
○前田　重子（日立栃木）
○山岸　和子（日立栃木）
○井沢由美子（日立栃木）
荒木　一美（ブラザー工業）
久保田美香（ブラザー工業）
○小池　宏子（ブラザー工業）
○磯山　弘美（筑　波　大）
○林　　智恵（筑　波　大）
○中嶋恵美子（筑　波　大）
○岩村　英子（立石電機山鹿）
○野嶋ちえみ（立石電機山鹿）
武藤夕起子（日本ビクター）
根本　幸枝（日本ビクター）
○近藤　育子（ジャスコ）
○丸田　紀子（大和銀行）
鈴木　美幸（東女体大）
○比嘉　晴美（沖縄・具志川高）
・○印は第１回アジア選手権代表

◇昭和62年度「男子ジュニア」ナショナルチーム

〈ＧＫ〉
高木　俊明（兵庫・明石北高）
井上　博文（久留米工大）
多田　恵久（湧永製薬）
高橋　克己（早　　大）
比嘉　　薫（日　体　大）
〈ＦＰ〉
大和田和利（大崎電気）
大野　達哉（大崎電気）
相馬　栄司（大崎電気）
小池　暢男（本田技研鈴鹿）
松村　宏和（本田技研熊本）
田中　幸介（本田技研熊本）
野中　宏洋（日新製鋼）
藤本　光次（日新製鋼）
坂口　俊幸（トヨタ自動車）
松尾　和明（トヨタ自動車）

鹿嶌　俊秀（大阪体大）
田中　英規（大阪体大）
植木　寿憲（大同特殊鋼）
加治　稔典（大阪ガス）
田中　正道（久留米工大）
井上　朋広（京都産大）
甲斐　章義（早　　大）
田中　　茂（筑 波 大）
源内　利之（国士館大）
山下　裕史（愛 知 高）
大村　耕一（山梨・日川高）
伊勢坊和弘（三 島 高）

◇昭和62年度「女子ジュニア」ナショナルチーム

〈ＧＫ〉
○梅津　直美（日立栃木）
○三浦　葉子（ブラザー工業）
村山みどり（東女体大）
○小松崎浩子（茨城・水海道二高）
川島ゆう子（立石電機山鹿）

〈ＦＰ〉
○武津　優子（立石電機山鹿）
中山美和子（立石電機山鹿）
橋本奈美子（立石電機山鹿）
斉藤八千代（立石電機山鹿）
○市来　末央（日 体 大）
小林江利子（日 体 大）
新田　千里（日 体 大）
○稲田　知鶴（ジャスコ）
○川井　理恵（ジャスコ）
○太田　弥生（日本ビクター）
○山之内理代（日本ビクター）
○小池美由紀（大和銀行）
○貞本三奈子（大和銀行）
○大林　恵子（東京重機）
山岸理津子（シャトレーゼ）
○松田　史佳（北国銀行）
○白鳥　貴子（筑 波 大）
篠原　由美（武庫川女大）
○森田　初美（大崎電気）
比嘉　晴美（沖縄・具志川高）

・○印は第６回世界ジュニア選手権代表
・村山、比嘉両選手は「シニア」代表を兼ねる。

表　　彰

◇第37回日本スポーツ賞ハンドボール部門賞（読売新聞社制定）

・第４回アジア選手権日本男子代表チーム

◇昭和62年度関西運動記者クラブハンドボール分科会表彰

・男子最優秀選手賞　玉村健次（湧永製薬）
・女子最優秀選手賞　尹乗順（大崎電気）
・特別賞　山本伸二（湧永製薬）

◇「スポーツイベント・ハンドボール」誌年間ベストセブン

▽男子最優秀選手　玉村健次（湧永製薬）

▽ベストセブン
・ＧＫ　矢内　　浩（大崎電気）
・ＦＰ　玉村　浩次（湧永製薬）
立木　浩二（本田鈴鹿）
宮下　和広（大崎電気）
田口　　隆（本田鈴鹿）
西山　　清（日新製鋼）
奥田　新治（湧永製薬）
▽女子最優秀選手　尹秉順（大崎電気）
▽ベストセブン
・ＧＫ　小口　明子（日本ビクター）
・ＦＰ　柳　　京美（東女体大）
丸田　紀子（大和銀行）
前田　重子（日立栃木）
尹　　秉順（大崎電気）
北島三恵子（東女体大）
比嘉　晴美（具志川高）

III　名簿編・レフェリー

◇1987～88年度国際公認審判員
千野　恒夫（山梨）
後藤　　登（東京）
島田　房二（東京）
岡本　研二（茨城）
清水　宣雄（千葉）
上久保重次（埼玉）
北井　晴次（埼玉）
川島　克之（愛知）
森　　敏郎（愛知）
島崎　政治（大阪）
井上　真也（大阪）
中本　成基（広島）
三枝　慶彦（山梨）
斎藤　　実（山梨）
福田　英明（福岡）
松尾　勝也（福岡）

◇同カテゴリーＢ

浜田　浩和（東京）
小笠原久郎（東京）
浅井　隆志（大阪）
山本　浩之（大阪）
松原　誠起（愛媛）
武智　誠治（愛媛）
酒井　伸夫（北海道）
伊藤　敏之（北海道）
馬場　保夫（兵庫）
浜田　浩嗣（兵庫）

◆第39回（1987年12月）全日本総合選手権審判団

審判長／大塚文雄

副審判長／斉藤実　審判員／福田英明、中本成基、島崎政治、井上真也、川島克之、森敏雄、上久保重次、北井晴次、清水宣雄、岡本研二、半田忠、菅野肇、島田房二、三枝慶彦、北山隆、大原康昇、山本浩之、浅井隆志。

国内大会成績

（「日本ハンドボール史」掲載以降の国内大会の
成績及び，昭和62年度主要記録を掲載しました）

第39回
全日本総合選手権

昭和62年12月24日〜27日
（東京・駒沢体育館ほか）

〈男子〉

▶ 1回戦

本田技研鈴鹿36（18−7／18−17）24栃の葉ク

トヨタ自動車29（20−10／9−17）27早稲田大

大阪体育大22（10−8／12−10）18中村荷役

日新製鋼24（10−8／9−11／2−1／3−3）23大同ク

大崎電気40（20−5／20−12）17自衛隊呉

大同特殊鋼32（14−12／18−10）22日本体育大

沖縄教員36（16−10／20−12）22トヨタ車体

湧永製薬38（20−5／18−7）12日川ク

▶ 2回戦

本田技研鈴鹿32（16−9／16−3）12トヨタ自動車

日新製鋼35（15−8／20−11）19大阪体育大

大崎電気30（11−5／19−14）19大同特殊鋼

湧永製薬33（18−12／15−6）18沖縄教員

▶準決勝

本田技研鈴鹿28（15−9／13−15）24日新製鋼

湧永製薬21（10−11／11−4）15大崎電気

▶決勝

湧永製薬18（9−8／9−9）17本田技研鈴鹿

〔優勝メンバー・湧永製薬〕監督／山本伸二　選手／大城和彦，井藤英忠，

徐義輝，河原隆雅，生駒靖夫，玉村健次，堀田敬章，志賀良弘，中川英二，内田明克，荷川取義浩，山本伸二，奥田新治，楢原隆雄，酒巻清治。

〈女子〉

▶１回戦

ジャスコ31（18−14, 13−8）22北国銀行

日本ビクター26（11−6, 15−12）18日本体育大

大崎電気28（17−10, 11−11）21FCC

筑波大28（9−14, 14−9, 3−2, 2−1）26シャトレーゼ

大和銀行30（17−8, 13−8）16京都教員女子

日立栃木38（19−6, 19−7）13あゆみク

▶２回戦

東京女子体育大23（9−13, 14−7）20ジャスコ

大崎電気25（13−12, 12−8）20日本ビクター

大和銀行27（10−9, 17−14）23筑波大

日立栃木22（8−9, 14−7）16立石電機山鹿

▶準決勝

大崎電気23（9−8, 14−14）22東京女子体育大

日立栃木29（12−13, 17−10）23大和銀行

▶決勝

大崎電気27（10−17, 17−8）25日立栃木

〔優勝メンバー・大崎電気〕監督／佐藤章治　選手／大西佐代子，佐々木和子，宗片美智子，森田初美，松尾輝子，須永光恵，石井美沙子，徳渕妙子，野田恭子，金王花，福井幸代，尹秉順，江口喜栄子，前川美弥，鈴木美佐。

第12回
日本リーグ

昭和63年１月30日〜３月５日
（日本各地）

〔総観客数18,300.
1会場平均1,220.
1試合平均　610.〕

〈男子〉

大崎電気26（15−11, 11−12）23大同特殊鋼

大崎電気44（22−10, 22−15）25トヨタ自動車

大同特殊鋼21（13−6, 8−4）10本田技研鈴鹿

湧永製薬26（9−10, 17−11）21日新製鋼

大崎電気33（17−11, 16−10）21日新製鋼

本田技研鈴鹿	26	12－11 14－10	21	トヨタ自動車
日新製鋼	22	13－8 9－11	19	トヨタ自動車
本田技研鈴鹿	25	15－15 10－9	24	大崎電気
湧永製薬	21	10－6 11－5	11	大同特殊鋼
湧永製薬	25	14－9 11－8	17	本田技研鈴鹿
湧永製薬	33	13－7 20－9	16	トヨタ自動車
日新製鋼	20	10－8 10－9	17	大同特殊鋼
本田技研鈴鹿	22	9－11 13－10	21	日新製鋼
大同特殊鋼	30	16－10 14－5	15	トヨタ自動車
湧永製薬	30	15－13 15－14	27	大崎電気

〔順位〕①湧永製薬（５勝）②本田技研鈴鹿（３勝２敗）③大崎電気３勝２敗）④日新製鋼（２勝３敗）⑤大同特殊鋼（２勝３敗）⑥トヨタ自動車（５敗）

〔優勝メンバー・湧永製薬〕監督／山本伸二　選手／大城和彦，生駒靖夫，玉村健次，堀田敬章，志賀良弘，中川英二，内田明克，荷川取義治，山本伸二，奥田新治，井藤英忠，楢原隆雄，酒巻清治，河原隆雅，多田恵久，藤本康生，徐義輝。

〈女子〉

大和銀行	25	12－11 13－9	20	日本ビクター
大崎電気	26	14－14 12－11	25	立石電機山鹿
大和銀行	23	10－9 13－9	18	ジャスコ
日立栃木	28	12－12 16－16	28	日本ビクター
大崎電気	33	15－18 18－14	32	日立栃木
立石電機山鹿	30	11－9 16－8	17	ジャスコ
大和銀行	22	13－11 9－8	19	日立栃木
日本ビクター	19	10－6 9－10	16	立石電機山鹿
大崎電気	30	12－9 18－7	16	ジャスコ
大崎電気	30	15－13 15－14	27	大和銀行
日本ビクター	30	15－8 15－10	18	ジャスコ
立石電機山鹿	21	9－6 12－5	11	日立栃木
日本ビクター	32	17－12 15－19	31	大崎電気
立石電機山鹿	18	11－7 7－7	14	大和銀行
日立栃木	28	13－10 15－15	25	ジャスコ

〔順位〕①大崎電気（４勝１敗）②日

本ビクター（3勝1分1敗）③立石電機山鹿（3勝2敗）④大和銀行（3勝2敗）⑤日立栃木（1勝1分3敗）⑥ジャスコ（5敗）

〔**優勝メンバー・大崎電気**〕監督／佐藤章治　選手／大西佐代子，森田初美，松尾輝子，須永光恵，石井美佐子，徳渕妙子，野田恭子，越智葉，金玉花，福井幸代，佐々木和子，尹秉順，江口喜栄子，前川美弥，宗方美智子，鈴木美佐，香川美和。

◆2部・男子

三景	26	（15－8／11－13）	21	中村荷役運輸
トヨタ車体	15	（7－6／8－8）	14	豊田自動織機
日鉄建材	24	（14－8／10－10）	18	大阪ガス
トヨタ車体	22	（9－10／13－8）	18	大阪ガス
三陽商会	32	（15－10／17－7）	17	豊田自動織機
三景	35	（16－11／19－12）	23	日鉄建材
本田技研熊本	27	（13－7／14－15）	22	中村荷役運輸
中村荷役運輸	29	（12－9／17－9）	18	日鉄建材
本田技研熊本	25	（12－8／13－12）	20	三景
三陽商会	30	（15－7／15－11）	18	本田技研熊本
豊田自動織機	25	（14－7／11－12）	19	大阪ガス
本田技研熊本	27	（11－10／16－11）	21	豊田自動織機
三陽商会	33	（17－9／16－8）	17	大阪ガス
三景	33	（16－7／17－9）	16	大阪ガス
三陽商会	38	（21－11／17－8）	19	日鉄建材
トヨタ車体	25	（13－11／12－9）	20	中村荷役運輸
三陽商会	29	（20－6／9－11）	17	中村荷役運輸
三景	28	（17－8／11－12）	20	トヨタ車体
三陽商会	31	（14－10／17－8）	18	トヨタ車体
三景	28	（14－12／14－8）	20	豊田自動織機
本田技研熊本	32	（13－9／19－11）	20	日鉄建材
大阪ガス	19	（9－10／10－8）	18	中村荷役運輸
豊田自動織機	31	（17－10／14－11）	21	日鉄建材
本田技研熊本	27	（14－8／13－14）	22	トヨタ車体
本田技研熊本	30	（14－11／16－9）	20	大阪ガス
日鉄建材	25	（10－14／15－10）	24	トヨタ車体

豊田自動織機 21（13－7 8－12）19 中村荷役運輸

三陽商会 33（19－12 14－16）28 三景

〔順位〕①三陽商会（7勝）②本田技研熊本（6勝1敗）③三景（5勝2敗）④（トヨタ車体（3勝4敗）⑤豊田自動織機（3勝4敗）⑥日鉄建材（2勝5敗）⑦大阪ガス（1勝6敗）⑧中村荷役運輸（1勝6敗）

◆2部・女子

ブラザー工業 49（21－6 28－1）7 ムネカタ

ソニー国分 21（7－5 14－11）16 北国銀行

東京重機 35（19－10 16－10）20 ムネカタ

北国銀行 22（10－9 12－10）19 東京重機

ソニー国分 30（15－3 15－7）20 ムネカタ

東京重機 28（13－9 15－14）23 ブラザー工業

北国銀行 46（26－4 20－12）16 ムネカタ

シャトレーゼ 33（19－9 14－9）18 北国銀行

ブラザー工業 25（13－8 12－9）17 ソニー国分

シャトレーゼ 21（9－7 12－8）15 ブラザー工業

シャトレーゼ 28（13－5 15－13）18 東京重機

ブラザー工業 25（9－12 16－12）24 北国銀行

シャトレーゼ 29（13－7 16－11）18 ムネカタ

シャトレーゼ 33（15－5 18－11）16 ソニー国分

ブラザー工業 31（16－9 15－6）15 東京重機

〔順位〕①シャトレーゼ（5戦全勝）②ブラザー工業（4勝1敗）③東京重機（2勝3敗）④北国銀行（2勝3敗）⑤ソニー国分（2勝3敗）⑥ムネカタ（5敗）

◆個人記録

◇1部男子ベストセブン

▽GK	井藤　英忠	（湧永）	③
▽FP	宮下　和広	（大崎）	初
	玉村　健次	（湧永）	初
	高村　誠一	（大同）	初
	西山　　清	（日新）	⑥
	川田　和彦	（トヨタ）	初
	立木　浩二	（本田）	③

◇1部女子ベストセブン

▽GK	小口　明子	（日ビ）	初
▽FP	尹　　秉順	（大崎）	初
	金　　玉花	（大崎）	初
	前田　重子	（日立）	⑤
	長田　友子	（日ビ）	②
	野嶋ちえみ	（立石）	②
	丸田　紀子	（大和）	②

◇１部男子フィールドゴール10傑

①宮下　和広（大崎）　39

②松岡　　寛（大崎）　25

③玉村　健次（湧永）　23

④荷川取義浩（湧永）　22

④首藤　信一（大崎）　22

④大和田和利（大崎）　22

④高木　俊二（日新）　22

⑧川田　和彦（トヨタ）　20

⑨河原　隆雅（湧永）　19

⑨坂口　俊幸（トヨタ）　19

⑨酒巻　清治（湧永）　19

◇１部男子シュート率５傑

①荷川取義浩（湧永）　0.759

②酒巻　清治（湧永）　0.704

③大和田和利（大崎）　0.667

④宮下　和広（大崎）　0.660

⑤松岡　　寛（大崎）　0.581

◇１部男子ペナルティ得点５傑

①玉村　健次（湧水）　17

②山本　興道（大崎）　16

③川田　和彦（トヨタ）　11

④西山　　清（日清）　10

⑤山村　敏之（本田）　8

◇１部男子個人得点10傑(非表彰部門)

①玉村　健次（湧水）　40

②宮下　和広（大崎）　39

③川田　和彦（トヨタ）　31

④西山　　清（日新）　26

⑤松岡　　寛（大崎）　25

⑥山村　敏之（本田）　23

⑦荷川取義浩（湧水）　22

⑦大和田和利（大崎）　22

⑦高木　俊二（日新）　22

⑩坂口　俊幸（トヨタ）　20

⑩山本　興道（大崎）　20

◇２部男子フィールドゴール

①郡司　　勉（三景）　52

◇同シュート率

①山口　哲史（三陽）　0.692

◇同ペナルティ得点

①長野　　透（本田熊本）　16

◇１部女子フィールドゴール10傑

①尹　　秉順（大崎）　44

②前田　重子（日立）　29

③野嶋ちえみ（立石）　27

④丸田　紀子（大和）　26

④武藤夕起子（日ビ）　26

⑥金　　玉花（大崎）　25

⑦上村多恵子（大和）　21

⑦橋本奈美子（立石）　21

⑨井沢由美子（日立）　19

⑨山岸　和子（日立）　19

⑨枝川　文子（日ビ）　19

◇１部女子シュート率５傑

①上村多恵子（大和）　0.700

②金　　玉花（大崎）　0.625

③井沢由美子（日立）　0.576

④尹　　秉順（大崎）　0.557

⑤前田　重子（日立）　0.537

◇１部女子ペナルティ得点５傑

①長田　友子（日ビ）　19

②金　　玉花（大崎）　15

③野嶋ちえみ（立石）　13

③渡辺佳乃子（ジャ）　13

⑤前田　重子（日立）　9

◇１部女子個人得点10傑（非表彰部門）

①尹　秉順（大崎）　45
②野嶋ちえみ（立石）　40
②金　玉花（大崎）　40
④前田　重子（日立）　38
⑤長田　友子（日ビ）　34
⑥丸田　紀子（大和）　28
⑦武藤夕起子（日ビ）　27
⑧渡辺佳乃子（ジャ）　22
⑨上村多恵子（大和）　21
⑩橋本奈美子（立石）　21

◇２部女子フィールドゴール

①海道　元子（シャ）　45

◇同シュート率

①古谷美紀子（重機）　0.723

◇同ペナルティ得点

①海道　元子（シャ）　14

◆日本リーグ年次観客動員記録

①（1976）　26500（56）
②（1977）　60480（112）
③（1978）　62700（112）
④（1979）　41000（58）
⑤（1980）　25400（43）
⑥（1981）　36105（58）
⑦（1982）　39700（58）
⑧（1983）　40250（58）
⑨（1984）　30900（43）
⑩（1985）　41900（51）
⑪（1986）　33250（60）
⑫（1987＝昭62）　18300（30）

・オ１面からの通算　456485（739試合）

・１試合平均　618

◆男子・セレクションマッチ（新加盟希望チーム試合）

竹芝精巧（京都）32（13−13 12−12 延長 4−4 3−1）30日本電装（愛知）

◆男子・２部決定戦

中村荷役運輸26（13−15 13−10）25竹芝精巧

中村荷役運輸22（11−6 11−6）12竹芝精巧

中村荷役運輸は２部残留

大阪ガス23（9−10 14−10）20日本電装

大阪ガス25（15−8 10−14）22日本電装

大阪ガスは２部残留

◆男子・１〜２部入れ替え戦

トヨタ自動車24（13−12 11−9）21三陽商会

三陽商会38（14−8 24−6）14トヨタ自動車

三陽商会が１部復帰

大同特殊鋼31（13−2 18−11）13本田技研熊本

大同特殊鋼37（18−5 19−13）18本田技研熊本

大同特殊鋼は１部残留

◆女子・１〜２部入れ替え戦

シャトレーゼ21（9−7 12−11）18ジャスコ

シャトレーゼ 33（16－5 17－12）17 ジャスコ

シャトレーゼは1部昇格

日立栃木 18（6－5 12－8）13 ブラザー工業

日立栃木 14（9－5 5－8）13 ブラザー工業

日立栃木は1部残留

第1回J.H.Lカップ

昭和62年9月12日～15日
〔東地区〕大崎電気体育館ほか
〔西地区〕長居球技場ほか

〔東地区〕◇男子

大崎電気	29－19	三陽商会
大同特殊鋼	33－14	三景
トヨタ自動車	32－22	トヨタ車体
三陽商会	26－13	中村荷役運輸
大崎電気	30－27	三景
大同特殊鋼	22－14	トヨタ車体
トヨタ自動車	30－16	中村荷役運輸
三陽商会	28－14	トヨタ車体
三景	25－24	トヨタ自動車
大同特殊鋼	36－6	中村荷役運輸
大崎電気	25－13	トヨタ車体
三景	30－28	中村荷役運輸
大同特殊鋼	24－23	三陽商会
大崎電気	34－18	トヨタ自動車
トヨタ車体	27－14	中村荷役運輸
三陽商会	27－22	三景
大同特殊鋼	30－11	トヨタ自動車
大崎電気	31－17	中村荷役運輸
三景	30－23	トヨタ車体
三陽商会	25－18	トヨタ自動車
大崎電気	24－20	大同特殊鋼

〔順位〕①大崎電気（6戦全勝）②大同特殊鋼（5勝1敗）③三陽商会（4勝2敗）④三景（3勝3敗）⑤トヨタ自動車（2勝4敗）⑥トヨタ車体（1勝5敗）⑦中村荷役運輸（6敗）

〔西地区〕◇男子

豊田自動織機	24－25	日鉄建材
日新製鋼	32－21	大阪ガス
湧永製薬	26－10	本田技研熊本
本田技研熊本	33－4	豊田自動織機
本田技研熊本	27－17	大阪ガス
本田技研鈴鹿	30－10	日鉄建材
湧永製薬	23－18	日新製鋼
大阪ガス	23－17	日鉄建材
日新製鋼	31－23	本田技研熊
湧永製薬	36－9	豊田自動織機
本田技研鈴鹿	41－13	大阪ガス
本田技研熊本	24－17	豊田自動織機
湧永製薬	39－13	日鉄建材
本田技研鈴鹿	20－14	日新製鋼
日新製鋼	26－4	豊田自動織機
本田技研熊本	27－14	日鉄建材
大阪ガス	28－9	豊田自動織機
湧永製薬	18－14	本田技研鈴鹿
日新製鋼	28－7	日鉄建材
本田技研鈴鹿	36－17	本田技研熊本
湧永製薬	37－15	大阪ガス

〔順位〕①湧永製薬（６戦全勝）②本田技研鈴鹿（５勝１敗）③日新製鋼（４勝２敗）④本田技研熊本（３勝３敗）⑤大阪ガス（２勝４敗）⑥豊田自動織機（１勝５敗）⑦日鉄建材（６敗）

▽個人得点10傑

①大和田	和利	（東①、大崎）	38
②川田	和彦	（東②、トヨ自）	35
③玉村	健次	（西①、湧永）	34
松井	幸司	（東③、トヨ車）	34
④田村	友男	（東④、三景）	33
⑤堀田	敬章	（西②、湧永）	31
長田	健嗣	（西②、大ガス）	31
⑥大塚	智浩	（東⑤、三陽）	30
名取	和成	（東⑤、大同）	30
⑦髙木	俊二	（西④、日新）	28
⑧宮下	和広	（東⑦、大崎）	27
中田	親広	（東⑦、大崎）	27
藤田	光秀	（西⑤、大ガス）	27
⑨砂川	正雄	（東⑨、三陽）	26
清家	伸二	（東⑨、三陽）	26
君島	康之	（東⑨、トヨ車）	26
田中	保彦	（東⑨、大同）	26
⑩川崎	啓三	（西⑥、本田熊）	25

〔東地区〕◇女子

シャトレーゼ	24－23	東京重機
日本ビクター	30－8	ムネタカ
日立栃木	26－21	東京重機
大崎電気	30－28	日本ビクター
日立栃木	33－24	シャトレーゼ
大崎電気	32－23	ムネタカ
大崎電気	25－23	東京重機
日立栃木	33－10	ムネタカ
日本ビクター	19－15	シャトレーゼ
東京重機	28－17	ムネタカ
大崎電気	24－22	シャトレーゼ
日本ビクター	22－18	日立栃木
シャトレーゼ	29－13	ムネタカ
日本ビクター	31－21	東京重機
大崎電気	29－25	日立栃木

〔順位〕①大崎電気（５戦全勝）②日本ビクター（４勝１敗）③日立栃木（３勝２敗）④シャトレーゼ（２勝３敗）⑤東京重機（１勝４敗）⑥ムネタカ（５敗）

〔西地区〕◇女子

ブラザー工業	18－12	ソニー国分
大和銀行	25－20	北国銀行
ブラザー工業	22－15	ジャスコ
立石電機山鹿	23－17	大和銀行
ジャスコ	30－19	ソニー国分
立石電機山鹿	28－17	北国銀行
ブラザー工業	20－15	立石電機山鹿
北国銀行	21－18	ジャスコ
大和銀行	29－11	ソニー国分
北国銀行	25－23	ブラザー工業
立石電機山鹿	27－20	ソニー国分
ジャスコ	23－13	大和銀行
北国銀行	29－15	ソニー国分
ブラザー工業	21－13	大和銀行
立石電機山鹿	24－16	ジャスコ

〔順位〕①ブラザー工業（４勝１敗）②立石電機山鹿（４勝１敗）③北国銀行（３勝２敗）④ジャスコ（２勝３敗）

⑤大和銀行（２勝３敗）⑥ソニー国分（５敗）

▼個人得点10傑

①長田　友子	（東①、日ビ）	39
②海道　元子	（東②、シャト）	32
③金　　昌順	（西①、北国）	30
④金　　玉花	（東③、大崎）	29
⑤尹　　秉順	（東④、大崎）	28
⑥古谷美紀子	（東⑤、重機）	26
中村　文香	（西②、ブラ）	26
橋本奈美子	（西②、立石）	26
⑦枝川　文子	（東⑥、日ビ）	24
野嶋ちえみ	（西④、立石）	24
⑧井沢由美子	（東⑦、日立）	23
近藤　育子	（西⑤、ジャ）	23
⑨荒木　一美	（西⑥、ブエ）	22
⑩前田　重子	（東⑧、日立）	21
武藤夕起子	（東⑧、日ビ）	21
佐藤ゆかり	（東⑧、ムネ）	21
嶋崎　純子	（東⑧、シャト）	21
佐藤　泰子	（東⑧、重機）	21
丸田　紀子	（西⑦、大和）	21
久保田美香	（西⑦、ブラ）	21

第５回日本リーグ・オールスターゲーム

（1987年１月18日　大阪中央体育館）

〈男子〉

西　　軍42（23―10 / 19―21）31東　　軍

〔出場メンバー〕西軍（本田技研鈴鹿，湧永製薬，日新製鋼）監督／喜井美雄（本田）コーチ／山本伸二（湧永）選手／・ＧＫ井藤英忠（湧永），大畑孝広（本田）　・ＦＰ　生駒靖夫，志賀良弘，玉村健次，山本伸二（以上湧永），立木浩二，佐々木信男，吉山慎一，粟屋敏則，田口隆，山本秀明（以上本田），西山清，武田大伸，甲斐幸平（以上日新）。

東軍（大崎電気，三陽商会，三景）監督／佐藤章治（大崎）　コーチ／加藤正博（三景）　選手／・ＧＫ　矢内浩（大崎），宇田川敏郎（三陽）・ＦＰ松岡寛，越迫敏博，星野薫，山本興道，宮下和広，菅田信也，首藤信一（以上大崎），山口哲史，実方智，清家伸二（以上三陽），近藤浩人，鈴木敬介，郡司勉（以上三景）。

〈女子〉

東　　軍37（16―18 / 21―13）31西　　軍

東軍（大崎電気，日立栃木，日本ビクター）　監督／谷口俊郎　コーチ／伊藤宏幸　選手／・ＧＫ梅野康子（大崎），葛生豊子（日立），・ＦＰ李相玉，徳渕妙子，松尾輝子，石井美沙子，金玉花（以上大崎），前田重子，手打ひろみ，山岸和子，井沢由美子（以上日立），武藤夕起子，長田友子，下條千恵子，根本幸枝（以上日ビ）

西軍（ジャスコ，大和銀行，立石電機山鹿）　監督／井薫（立石）　コー

チ／鈴木義男（ジャ）　選手／・ＧＫ木村貴代美（ジャ），荒木晴美（立石）・ＦＰ岩村英子，池上由美，江口由美子，野嶋ちえみ，山内香代（以上立石），寺沢路子，石田裕子，服部淳子，近藤育子（以上ジャ），上西二三代，丸田紀子，赤瀬珠栄，上村多恵子（以上大和）。

〈個人成績〉
・最優秀選手・男子　玉村健次（西，湧永），・女子　李相玉（東，大崎電気）
・敢闘賞・男子　宮下和広（東，大崎），・女子　丸田紀子（西，大和）
〈観衆〉2200人
（注）この試合は，国際ハンドボール連盟が試行を検討中の「４項目」を採用して行われた。
（注）昭和61年１月に予定の「第５回」は休止。昭和63年３月に予定の「第６回」も休止。

第42回 国民体育大会
昭和62年10月26日～30日
（沖縄・浦添市）

〈成年男子〉

▶１回戦

富山（全富山）	27	15－9 12－16	25	岐阜（岐阜教員）
石川（全石川）	41	25－10 16－21	22	長崎（佐世保ク）
茨城（茨苑ク）	29	13－12 16－9	21	和歌山（県和商ク）
京都（京都ク）	34	18－6 16－13	19	北海道（函館有斗ク）
兵庫（スワロー兵庫）	43	24－11 19－12	23	徳島（池田ク）
山梨（日川ク）	32	16－9 16－15	24	宮崎（全宮崎）
秋田（湯川ク）	33	15－13 18－15	11	新潟（全新潟）
島根（江津ク）	23	9－11 14－11	11	福島（福島ク）
鳥取（境港ク）	27	11－8 16－16	24	岩手（花巻ク）
愛知（トヨタ自動車）	29	13－7 16－12	19	山形（山形ク）
岡山（全岡山）	40	18－15 22－16	31	香川（諸岐ク）
長野（全長野）	24	12－11 12－11	22	福岡（福岡教員）
愛媛（愛媛選抜）	34	13－15 21－12	27	青森（全青森）
千葉（千葉教員）	31	15－14 16－13	27	奈良（わかくさク）
大分（大電会）	36	14－16 17－15 2－3 3－2	36	神奈川（全神奈川）

３ＰＴＣ２

▶２回戦

埼玉（大崎電気）	37	22－12 15－16	28	富山

熊本（本田技研熊本）	38	21－10 17－13	23	宮城
佐賀（佐賀選抜）	27	12－11 15－11	22	兵庫
鳥取	32	12－17 13－8 5－1 2－3	29	群馬（あかぎク）
栃木（栃の葉ク）	34	17－9 17－13	22	愛媛
石川	27	13－16 14－10	26	滋賀（全滋賀）
山梨	27	12－10 15－11	21	山口（山口教員団）
広島（日新製鋼）	31	11－7 20－9	16	愛知
沖縄（浦添ク）	38	20－8 18－8	16	茨城
秋田	34	13－9 21－16	25	静岡（清商ク）
福井（全福井）	36	17－15 19－17	32	岡山
大阪（大阪イーグルス）	40	19－13 21－16	29	大分
東京（三陽商会）	28	13－13 15－13	26	京都
鹿児島（鹿児島ク）	34	15－13 19－13	26	島根
長野	31	16－6 15－12	18	高知（高知ク）
三重（本田技研鈴鹿）	38	21－4 17－9	13	千葉

▶ 3回戦

埼玉	33	13－13 20－11	24	熊本
鳥取	26	12－14 14－9	23	佐賀
栃木	33	15－13 18－8	21	石川
広島	37	21－13 16－14	27	山梨
沖縄	42	22－4 20－8	12	秋田
大阪	40	20－5 20－13	18	福井
東京	44	20－10 24－15	25	鹿児島
三重	42	21－7 21－12	19	長野

▶ 準々決勝

埼玉	33	17－11 16－11	22	鳥取
広島	29	15－9 14－15	24	栃木
沖縄	39	17－11 22－6	17	大阪
三重	25	14－13 11－10	23	東京

準決勝

広島	31	16－15 15－13	28	埼玉
三重	30	13－8 17－11	19	沖縄

▶ 3位決定戦

埼玉	39	19－15 20－13	28	沖縄

▶決勝

三重 21（8－4 / 13－11）15 広島

〔優勝メンバー・三重〕監督／喜井美雄　選手／大畑孝広，真砂純一，三本松俊雄，山村敏之，立木浩二，尾上良生，内藤裕治，粟屋敏則，山本秀明，田口隆，平子司，橋本行弘。

〈成年女子〉

▶1回戦

石川（北国銀行）33（15－9 / 18－10）19 北海道（上磯ク）

大阪（大和銀行）34（18－11 / 16－10）21 福島（ムネカタ）

鹿児島（ソニー国分）28（12－10 / 16－11）21 広島（広島ク）

▶準々決勝

大阪 31（12－11 / 19－9）20 三重（ジャスコ）

沖縄（レキオク）26（11－4 / 15－8）12 香川（香川選抜）

熊本（立石電機山鹿）29（12－5 / 17－16）21 石川

山梨（シャトレーゼ）32（16－4 / 16－10）14 鹿児島

▶準決勝

熊本 27（9－5 / 18－11）16 沖縄

大阪 27（14－12 / 13－12）24 山梨

▶3位決定戦

山梨 31（14－8 / 17－9）17 沖縄

▶決勝

大阪 28（16－9 / 12－8）17 熊本

〔優勝メンバー・大阪〕監督／緒方嗣雄　選手／高浜照美，丸田紀子，鈴木智津子，赤瀬珠栄，上村多恵子，松田知子，藤本ゆかり，渡辺真弓，袰川亜由美，木瀬あけみ，平井千鶴，増見美果。

〈少年男子〉

▶1回戦

大阪（選抜）24（9－10 / 15－10）20 秋田（湯沢高）

沖縄（選抜）36（13－8 / 23－11）19 愛媛（選抜）

愛知（選抜）34（16－11 / 18－6）17 石川（選抜）

▶準々決勝

大阪 26（13－10 / 13－8）18 福岡（久工大付高）

千葉（選抜）22（7－8 / 15－11）19 岡山（選抜）

沖縄 21（10－7 / 11－7）14 北海道（選抜）

愛知 34（14－16 / 12－10 / 3－1 / 5－2）29 熊本（熊本市商）

▶準決勝

大阪 19（8－6 / 11－11）17 千葉

沖縄 25（13－10／12－12）22 愛知

▶3位決定戦

千葉 25（12－7／13－10）17 愛知

▶決勝

沖縄 19（8－12／11－5）17 大阪

〔優勝メンバー・沖縄〕監督／儀間次男　選手／高良毅，下地保，嶺井寛之，又吉桂三，比嘉勉，長田盛二，吉浜邦彦，上原尚，知念嘉史，高島直樹，仲宗根龍美，我謝昌直。

〈少年女子〉

▶1回戦

愛知（選抜）32（15－12／17－9）21 熊本（選抜）

宮城（全宮城）30（17－6／13－9）15 愛媛（選抜）

山口（選抜）38（19－7／19－6）13 北海道（選抜）

▶準々決勝

東京（選抜）20（5－8／15－7）15 愛知

石川（選抜）19（7－8／12－9）17 滋賀（彦根商高）

沖縄（選抜）21（13－6／8－13）19 宮城

山口 22（12－8／10－7）15 宮崎（選抜）

▶準決勝

沖縄 18（7－7／11－9）16 山口

石川 26（17－9／9－10）19 東京

▶3位決定戦

山口 21（12－12／9－8）20 東京

▶決勝

沖縄 24（14－6／10－7）13 石川

〔優勝メンバー・沖縄〕監督／新里泰一　選手／仲程知美，大湾聖子，比嘉恵津子，冨着和香奈，池原貴子，仲宗根陽子，比嘉晴美，仲井間早苗，古田千明，宮国優子，長田香代子，金城桂。

第30回（女子23回）全日本学生選手権

昭和62年11月10日～15日

（東京・多摩市総合体育館）

〈男子〉

▶1回戦

早大 41（22－4／19－10）14 大阪市大

金沢大 26（9－10／17－13）23 中部大

東京学芸大 30（17－8／13－10）18 松山商科大

大阪教育大 33（15－11／18－11）22 北海道大

日大	30	14－11	16－12	23	天理大
明大	30	13－8	17－14	22	久留米工大
岩手大	26	14－10	12－11	21	愛知学院大
国士舘大	34	15－10	19－10	20	大阪経済大
日体大	45	24－3	21－8	11	山口大
法大	29	14－11	15－11	22	京都産業大
中京大	28	12－7	16－11	18	函館大
大阪体大	27	13－6	14－7	13	慶大
中央大	34	15－8	19－16	24	近畿大
順天堂大	20	7－8	13－11	19	名城大
筑波大	31	14－11	17－7	18	東北学院大
福岡大	31	15－11	16－11	22	同志社大

▶ **2回戦**

早大	34	13－9	21－9	18	金沢大
大阪教育大	21	10－7	11－8	15	東京学芸大
日大	25	16－5	19－11	16	明大
国士舘大	30	21－6	9－14	20	岩手大
日本体育大	27	14－8	13－8	16	法大
大阪体育大	23	7－10	16－8	18	中京大
中央大	30	13－9	17－12	21	順天堂大
福岡大	22	9－6	13－13	19	筑波大

▶ **準決勝リーグA組**

早大	33	22－10	11－6	16	大阪教育大
日大	21	9－6	12－11	17	国士舘大
早大	26	15－15	11－10	25	国士舘大
日大	24	9－14	15－7	21	大阪教育大
早大	25	16－9	9－10	19	日大
国士舘大	25	14－9	11－10	19	大阪教育大

▶ **準決勝リーグB組**

日本体育大	27	12－9	15－9	18	福岡大
大阪体育大	19	7－7	12－8	15	中央大
日本体育大	22	11－12	11－9	21	中央大
福岡大	20	14－10	6－9	19	大阪体育大
大阪体育大	12	7－4	5－5	9	日本体育大

中央大22（11－8／11－13）21福岡大

決勝リーグ

日本体育大24（11－10／13－9）19日大

大阪体育大26（12－13／14－11）24早大

大阪体育大24（13－5／11－10）15日大

日本体育大27（11－10／16－13）23早大

〔順位〕 ①大阪体育大（3勝）②日本体育大（2勝1敗）③早大（1勝2敗）④日大（3敗）

〔優勝メンバー・大阪体育大〕 監督／宍倉保雄　選手／酒井一，大谷和彦，家永昌樹，中村昌人，福田誠志，福村正己，白石良樹，西岡克彦，梅基幸一，田中孝，村田文彦，中舎理人，林顕道，寺島正幸，河合哲，萩原則幸。

▽ベストセブン

・GK	大谷　和彦	（大体大）	初
・FP	長沢　純平	（日体）	初
	斉藤慎太郎	（日体）	初
	福村　正己	（大体大）	初
	吉見　有正	（日大）	初
	甲斐　章義	（早稲田）	初
	仁熊　修二	（福岡）	初

〈女子〉

▶1回戦

東女体大49（25－1／24－5）6東北福祉大

大阪教大19（8－3／11－7）10東海大

武庫川女大48（27－1／21－2）3富山大

日体大31（20－9／11－10）19天理大

福岡大21（9－9／12－11）20中京女大

日女体大25（13－4／12－8）12中京大

大阪体大24（12－2／12－7）9東京学芸大

▶2回戦

東女体大42（19－6／23－4）10大阪教大

筑波大23（10－9／13－7）16武庫川女大

日体大27（11－6／16－5）11福岡大

日女体大15（8－7／7－7）14大阪体大

▶決勝リーグ

筑波大23（13－8／10－11）19日女体大

東女体大30（14－10／16－13）23日体大

東女体大21（12－8／9－6）14筑波大

日体大17（8－8／9－9）17日女体大

筑波大26（9－10／17－12）22日体大

東女体大29（16－7 13－8）15日女体大

〔順位〕①東京女子体育大（3勝）②筑波大（2勝1敗）③日本体育大（1勝1分2敗）④日本女子体育大（1分2敗）

〔優勝メンバー・東京女子体育大〕監督／高野亮　選手／野寺美姫，蒔田和美，村山みどり，鈴木美幸，内田恭子，北島三重子，後藤香里，松本由美，金順淑，柳京美，長谷川稲子，藤井直美，川西なるみ，佐藤直理，伝法谷芳子，鈴木里佳。

▽ベストセブン

・GK	吉村佐和子	（筑波）	②
・FP	鈴木　美幸	（東女大）	②
	金　　順淑	（東女大）	②
	柳　　京美	（東女大）	②
	中嶋恵美子	（筑波）	初
	金子　隆子	（日体）	初
	小沢　直美	（日女体）	初

第9回東日本学生選手権

（昭和62年8月15～19日 長野県更殖市ほか）

〈男子〉

▶決勝トーナメント1回戦

早大45（22－10 23－12）22東北学院大

中大29（15－11 14－13）24慶大

日大33（13－13 15－15 2－1 3－3）32国士館大

日体大34（18－7 16－14）21法政大

▶準決勝

早大31（15－10 16－10）20中大

日体大25（14－11 11－9）20日大

▶3位決定戦

日大23（8－12 15－8）20中大

▶決勝

早大23（11－11 12－9）20日体大

〈女子〉

▶準決勝（決勝トーナメント1回戦）

日体大31（17－11 14－10）21日女体大

東女体大30（16－8 14－11）19筑波大

▶3位決定戦

筑波大27（11－7 16－3）10日女体大

▶決勝

東女体大31（15－13 16－10）23日体大

第26回(女子17回)
西日本学生選手権

(昭和62年8月14日～17日
愛媛県松山市)

〈男子〉

▶準々決勝

大体大	18	(10—7 8—9)	16	中京大
福岡大	31	(14—11 17—10)	21	京産大
大経大	32	(18—11 14—10)	21	中部大
大教大	27	(13—7 14—12)	19	愛学大

▶準決勝

福岡大	23	(12—10 11—11)	21	大体大
大経大	28	(13—10 15—9)	19	大教大

▶3位決定戦

大体大	21	(10—11 11—8)	19	大教大

▶決勝

福岡大	33	(18—9 15—9)	18	大教大

第38回
全国高校選手権

昭和62年8月1日～7日
(北海道・札幌市)

〈男子〉

▶1回戦

東邦 (千葉)	22	(9－4 13－6)	10	江津 (島根)
三島 (大阪)	29	(12－6 17－6)	12	高松商 (香川)
長崎日大 (長崎)	27	(14－8 13－9)	17	那賀 (和歌山)
小松工 (石川)	21	(10－6 11－11)	17	倉敷工 (岡山)
函館有斗 (北海道)	22	(10－7 12－10)	17	日大山形 (山形)
日大明誠 (山梨)	25	(14－4 11－12)	16	四日市工 (三重)
下松工 (山口)	39	(18－7 21－15)	22	北陸 (福井)
鹿児島工 (鹿児島)	27	(13－7 14－11)	18	育英 (宮城)
尾道 (広島)	22	(13－2 9－13)	15	松山北 (愛媛)
長浜北 (滋賀)	27	(9－12 18－12)	24	岩井 (茨城)
小山南 (栃木)	24	(9－8 15－12)	20	柏崎 (新潟)
添上 (奈良)	19	(7－9 12－9)	18	盛岡一 (岩手)

富岡（群馬）	26	13－5 13－17	22	県岐阜商（岐阜）
市西宮東（兵庫）	28	15－11 13－12	23	大分電波（大分）
熊本市商（熊本）	31	18－6 13－9	15	清水市商（静岡）
境（鳥取）	27	12－6 15－12	18	屋代（長野）

▶ 2回戦

久留米工大附（福岡）	32	16－7 16－15	22	東邦
三島	39	16－9 23－6	15	学法石川（福島）
長崎日大	23	14－9 9－9	18	川口工（埼玉）
桜台（愛知）	28	18－12 10－15	27	小松工
函館有斗	22	9－8 13－11	19	都城工（宮崎）
日大明誠	17	8－4 9－8	12	大谷（京都）
下松工	31	14－3 17－5	8	高知西（高知）
明星（東京）	24	11－11 13－6	17	鹿児島工
興南（沖縄）	21	12－6 9－9	15	尾道
青森商（青森）	27	11－10 8－9 3－0 5－2	21	長浜北
小山南	28	15－5 13－10	15	釧路湖陵（北海道）
神埼農（佐賀）	23	13－4 11－11	15	添上
富岡	21	13－9 8－11	20	湯沢（秋田）
高岡向陵（富山）	29	12－17 17－10	27	市西宮東
熊本市商	41	22－10 19－12	12	三好農林（徳島）
横浜商工（神奈川）	40	22－5 18－9	14	境

▶ 3回戦

久留米工大附	21	9－9 12－10	19	三島
長崎日大	27	13－12 14－13	25	桜台
日大明誠	20	13－4 7－6	10	函館有斗
明星	31	15－6 16－13	19	下松工
興南	24	12－4 12－8	12	青森商
小山南	21	11－11 10－7	18	神埼農
高岡向陵	23	12－11 11－10	21	富岡
熊本市商	26	11－14 15－10	24	横浜商工

▶ 準々決勝

久留米工大附	38	18－3 20－10	13	長崎日大
明星	24	13－6 11－13	19	日大明誠

興南 31（19−16 / 12−10）26 小山南

熊本市商 31（21−10 / 10−13）23 高岡向陵

▶**準決勝**

久留米工大附 21（10−10 / 11−9）19 明星

熊本市商 29（13−7 / 16−13）20 興南

▶**決勝**

久留米工大附 29（14−9 / 15−10）19 熊本市商

〔優勝メンバー・久留米工大附〕監督／古賀昇　選手／篠崎敦嗣，中山剛，平野宗則，東島修一，杉元隆二郎，久保田圭，後藤聡，安永宣史，斉藤敏春，井上英昭，石丸浩二，久保田仁，志田誠一，近藤敬司。

〈女子〉

▶**1回戦**

盛岡二（岩手）21（6−6 / 8−8 / 3−0 / 4−0）14 富岡東（徳島）

向陽（京都）31（11−5 / 20−6）11 境（鳥取）

青森西（青森）25（13−2 / 12−4）6 添上（奈良）

大分雄城台（大分）13（6−1 / 7−6）7 松江市女（島根）

具志川（沖縄）28（11−8 / 17−6）14 松山北（愛媛）

小松商（石川）24（11−9 / 13−5）14 郡山女（福島）

県岐阜商（岐阜）15（7−9 / 8−2）11 純心女（鹿児島）

彦根商（滋賀）16（6−6 / 10−6）12 山陽女（広島）

夙川学院（兵庫）18（8−6 / 10−9）15 新潟江南（新潟）

岩国商（山口）20（8−9 / 9−8 / 1−1 / 2−0）18 静岡城北（静岡）

四天王寺（大阪）33（19−5 / 14−3）8 中村（高知）

大曲農（秋田）30（17−6 / 13−11）17 神埼農（佐賀）

栃木女（栃木）21（11−7 / 10−6）13 西大寺（岡山）

有磯（富山）26（12−4 / 14−7）11 日大山形（山形）

聖和学園（宮城）21（10−8 / 11−5）13 佐久（長野）

有馬（神奈川）25（14−7 / 11−5）12 高松商（香川）

▶**2回戦**

昭和学院（千葉）21（11−5 / 10−6）11 盛岡第二

熊本女子商（熊本）23（13−6 / 10−6）12 向陽

青森西 18（9−5 / 9−11）16 函館女子商（北海道）

水海道第二（茨城）	11	4－6 5－3 1－0 1－0	9	大分雄城台
具志川	17	8－6 9－4	10	山梨（山梨）
名古屋短大付（愛知）	14	6－9 8－4	13	小松商
福井商（福井）	23	13－6 10－8	14	県岐阜商
佼成学園（東京）	16	10－5 6－9	14	彦根商
川口青陵（埼玉）	24	11－7 13－12	19	夙川学院
岩国商	25	15－7 10－5	12	有馬商（長崎）
群馬女短付（群馬）	17	9－5 8－10	15	四天王寺
大曲農	24	11－10 13－11	21	暁（三重）
栃木女	19	10－9 9－6	15	九州女（福岡）
粉河（和歌山）	20	8－8 12－2	10	有磯
聖和学園	22	12－4 10－10	14	上磯（北海道）
有馬	14	5－7 9－5	12	本庄（宮崎）

▶3回戦

昭和学院	21	11－9 10－7	16	熊本女商
水海道第二	24	13－4 11－12	16	青森西
名古屋短大付	34	15－9 19－10	19	具志川
佼成学園	30	15－3 15－7	10	福井商
岩国商	22	13－4 9－8	12	川口青陵
大曲農	31	14－9 17－9	18	群馬短大付
栃木女	21	12－7 9－4	11	粉河
有馬	17	5－3 12－10	13	聖和学園

▶準々決勝

昭和学院	19	12－8 7－5	13	水海道第二
佼成学園	21	10－11 6－5 4－1 1－2	19	名古屋短大付
大曲農	23	10－10 13－8	18	岩国商
栃木女	16	6－9 10－6	15	有馬

▶準決勝

佼成学園	12	4－4 8－7	11	昭和学院
大曲農	21	11－7 10－9	16	栃木女

▶決勝

佼成学園	30	15－5 15－8	13	大曲農

〔優勝メンバー・佼成学園女〕監督／楠本達彦　選手／宇井由美子，湯野川典子，近藤道代，竹吉由江，真名子雅

子，三村紫十美，執印麻樹，杉山智子，戸塚美千代，坂本奈扶美，中澤かおり，村田明子，桐谷律子，高橋佳美。

第10回 全国高校選抜大会

昭和62年３月24日～28日
（愛知・愛知県体育館ほか）

〈男子〉

▶１回戦

桜台（愛知）	31	18－7 13－13	20	新居浜工（愛媛）
三島（大阪）	27	14－5 13－9	14	浦和実（埼玉）
興南（沖縄）	28	14－7 15－15	22	氷見（富山）
函館有斗（北海道）	20	8－11 12－7	18	那賀（和歌山）
市川（千葉）	24	14－6 10－8	14	県岐阜商（岐阜）
湯沢（秋田）	22	13－7 9－11	15	岩国工（山口）
久留米工大附（福岡）	32	12－7 20－7	14	富岡（群馬）
長崎日大（長崎）	23	11－9 12－10	19	盛岡第一（岩手）
横浜商工（神奈川）	29	12－8 17－8	16	大谷（京都）
小松工（石川）	30	15－8 15－10	18	高松商（香川）
岡崎城西（愛知）	22	12－8 10－11	19	日大明誠（山梨）
明星（東京）	25	16－9 9－10	19	熊本市商（熊本）
聖光学院（福島）	28	11－6 17－10	16	釧路湖陵（北海道）
尾道（広島）	22	9－10 13－10	20	西宮東（兵庫）

▶２回戦

桜台	22	11－12 11－6	18	長浜北（滋賀）
興南	19	11－10 8－7	17	三島
市川	17	10－5 7－10	15	函館有斗
久留米工大附	33	14－9 9－12	21	湯沢
横浜商工	18	7－2 11－9	11	長崎日大
岡崎城西	28	16－10 12－10	20	小松工
明星	21	10－7 11－11	18	聖光学院
四日市工（三重）	18	9－6 9－9	15	尾道

▶３回戦

興南	33	18－12 15－12	24	桜台
久留米工大附	22	9－8 13－7	15	市川
横浜商工	27	13－9 14－11	20	岡崎城西

明星25（12－14 13－6）20四日市工

▶準決勝

久留米工大附24（13－9 11－11）20興南

横浜商工15（7－5 8－5）10明星

▶決勝

久留米工大附21（10－9 11－4）13横浜商工

〔優勝メンバー・久留米工大附〕監督／古賀昇　選手／篠崎敦嗣，森山英司，平野宗則，中山剛，東島修一，杉元隆二郎，久保田圭，後藤聡，安永宣史，福井浩二，井上英昭，平野淳。

〈女子〉

▶1回戦

川口青陵（埼玉）24（12－9 12－3）12大分雄城台（大分）

夙川学院（兵庫）15（8－7 7－7）14水海道二（茨城）

聖和（宮城）18（8－6 10－8）14上磯（北海道）

粉河（和歌山）24（15－11 9－4）15高松商（香川）

熊本女商（熊本）24（14－7 10－8）15郡山女（福島）

昭和学院（千葉）19（8－7 11－6）13緑丘商（愛知）

小松商（石川）15（9－7 6－7）14徳山商（山口）

佼成学園女（東京）24（12－9 12－8）17山陽女（広島）

向陽（京都）15（7－10 8－3）13福井商（福井）

名短付（愛知）28（15－7 13－9）16読谷（沖縄）

松山北（愛媛）17（5－8 12－5）13釧路星園（北海道）

彦根商（滋賀）18（7－7 11－8）15大曲農（秋田）

本庄（宮崎）22（10－6 12－6）12栃木女（栃木）

暁（三重）16（8－6 8－7）13大阪福島女（大阪）

▶2回戦

川口青陵18（9－6 9－9）15静岡城北（静岡）

夙川学院34（13－6 21－5）11聖和

熊本女商22（11－8 11－9）17粉河

昭和学院15（9－6 6－3）9小松商

佼成学園女24（12－6 12－4）10向陽

名短付31（17－5 14－8）13松山商

本庄14（9－6 5－5）11彦根商

有馬（神奈川）18（5－5 13－7）12暁

▶3回戦

川口青陵	16	9－6 7－9	15	夙川学院
昭和学院	20	7－11 9－5 2－0 2－2	18	熊本女商
佼成学園女	21	11－10 10－9	19	名短付
本庄	14	8－5 3－6 1－1 2－1	13	有馬

▶準決勝

昭和学院	16	7－4 5－8 4－0 0－3	15	川口青陵
本庄	22	13－11 9－10	21	佼成学園女

▶決勝

昭和学院	13	6－2 7－5	7	本庄

〔優勝メンバー・昭和学院〕監督／笠原利宏　選手／石田和子，小野直美，熱田由美子，高橋三佳，伊美和，座間博子，田村美佐子，井口京子，山崎えり子，斉藤由美，高橋優子，阿部純子。

第11回 全国高校選抜大会

昭和63年3月24日～28日（愛知・愛知県体育館）

〈男子〉

▶1回戦

麻生（茨城）	16	7－6 9－8	14	青森商（青森）
熊本市商（熊本）	22	9－8 13－13	21	長浜北（滋賀）
県岐阜商（岐阜）	25	14－7 11－8	15	高松商（香川）
育英（兵庫）	20	11－7 9－12	19	岩陽（山口）
小松明峰（石川）	21	8－6 13－12	18	函館有斗（北海道）
尾道（広島）	21	9－8 12－8	16	釧路湖陵（北海道）
桃山学院（大阪）	23	11－6 12－11	17	中京（愛知）
小禄（沖縄）	20	7－9 13－7	16	聖光学院（福島）
市川（千葉）	22	11－8 11－7	15	桑名（三重）
氷見（富山）	21	10－9 11－11	20	瓊浦（長崎）

▶2回戦

岡崎城西（愛知）	23	12－5 11－8	13	麻生
熊本市商	22	9－8 13－9	17	県岐阜商
浦和実（埼玉）	27	16－10 11－9	19	育英
明星（東京）	18	7－10 11－5	15	小松明峰
新居浜工（愛媛）	14	8－3 6－9	12	尾道
横浜商工（神奈川）	20	10－5 10－13	18	桃山学院

小禄 18（9－9、9－7）16 市川

氷見 20（10－7、10－8）15 桂（京都）

▶3回戦

熊本市商 21（9－10、12－5）15 岡崎城西

明星 17（8－6、9－8）14 浦和実

横浜商工 20（11－9、9－7）16 新居浜工

小禄 18（8－8、10－6）14 氷見

▶準決勝

明星 23（8－13、10－5、3－0、2－2）20 熊本市商

横浜商工 21（8－10、13－10）20 小禄

▶決勝

横浜商工 26（12－8、14－7）15 明星

〔優勝メンバー・横浜商工〕監督／渡辺靖弘　選手／野口克己，金丸智行，小川博，田中英二，松澤智雄，吉岡常晴，小沢勝利，山本泰功，熊倉勤雄，小林修，大浦進，石川直也。

〈女子〉

▶1回戦

山陽女（広島）33（19－4、14－7）11 釧路商（北海道）

昭和学院（千葉）16（8－5、5－8、2－2、1－0）15 佐賀関（大分）

高岡商（富山）16（7－5、8－10、1－0、0－1）15 清水西（静岡）

2PTC1

聖和学園（宮城）17（8－5、5－8、1－0、3－0）13 今治南（愛媛）

読谷（沖縄）22（12－6、10－8）14 添上（奈良）

宣真（大阪）13（4－2、9－5）7 暁（三重）

名短付（愛知）45（22－6、23－5）11 高松商（香川）

岩国商（山口）14（7－8、7－4）12 彦根商（滋賀）

熊本女商（熊本）21（11－7、10－8）15 郡山女（福島）

小松商（石川）24（14－4、10－9）13 明倫（神奈川）

▶2回戦

鈴蘭台（兵庫）18（7－4、11－11）15 山陽女

昭和学院 23（11－4、12－4）8 高岡商

東海女（愛知）22（8－7、14－10）17 聖和学園

読谷 16（4－6、10－8、2－1、0－1）16 佼成学園女（東京）

6PTC5

宣真 21（10−5、11−7）12 国学院栃木（栃木）

名短付 25（11−7、14−4）11 水海道二（茨城）

岩国商 18（8−7、10−6）13 熊本女商

小松商 34（17−7、17−5）12 函館女商（北海道）

▶3回戦

昭和学院 16（8−9、5−4、1−2、2−0）15 鈴蘭台

読谷 21（10−11、11−9）20 東海女

名短付 25（12−13、13−9）22 宣真

小松商 15（7−5、8−7）12 岩国商

▶準決勝

昭和学院 21（7−9、10−8、2−1、2−2）20 読谷

名短付 18（13−8、5−7）15 小松商

▶決勝

名短付 15（6−10、9−3）13 昭和学院

〔優勝メンバー・名短付〕監督／宮崎昭　選手／徳永清美，柴田麻友子，陰治恵子，国枝千明，八田明子，上島香，友田広美，近藤聖美，宮川千香子，飯田雅美，塩田由香，合田陽子。

第30回 全日本教職員選手権

昭和62年8月8日～13日
（京都・田辺市）

〈男子〉

▶1回戦

香川教員 27（13−15、14−7）22 広島県教職員

岡山教員 28（10−10、18−9）19 ATF（愛知）

滋賀教員 24（10−7、9−12、1−0、4−1）20 埼玉フェニックス

大阪教員 31（18−12、13−12）24 福岡教員

茨苑クラブ（茨城）43（20−8、23−3）11 新潟教員

わかくさク（奈良）37（18−7、19−8）15 静岡教員団

山口県教員団 34（17−10、17−10）20 富山教職員B

オールドイーグルスA（大阪）22（10−3、12−8）11 三重教員

埼玉教員ク 27（11−7、16−10）17 長野教員

千葉教員 30（14−8、16−12）20 岩手教員

愛知教員A 26（11−9、15−8）17 熊本教員ク

富山教職員A 19（12−9 / 7−8）17 イガヤクラブ（愛知）

大阪ハンターズ 31（15−12 / 16−14）26 山口教員

佐賀教員葉隠 31（17−6 / 14−5）11 和歌山ク

福井教員 23（12−11 / 11−9）20 東京教員

静岡県教員団 29（14−9 / 15−12）21 ロイヤルスワロー（兵庫）

愛媛教員A 21（10−8 / 11−12）20 愛知教員B

北海道教員 25（10−9 / 9−10 / 2−1 / 4−1）21 大阪教員クラブA

若潮ナッツ（千葉）26（9−9 / 10−10 / 2−3 / 5−1）23 岡山桃太郎クラブ

宮城教員 35（16−10 / 19−13）23 大分教員

石川教職員団 35（16−11 / 19−14）25 岡山白桃クラブ

神奈川教員 32（14−8 / 18−12）20 三重教員B

▶ 2回戦

栃の葉ク（栃木）36（18−11 / 18−7）18 香川教員

滋賀教員 31（14−12 / 17−11）23 岡山教員

茨苑ク 22（9−9 / 13−9）18 大阪教員B

わかくさク 33（17−10 / 16−9）19 福島ク

山口県教員団A 28（13−6 / 15−12）18 宮崎教員

埼玉教員 39（18−4 / 21−7）11 オールドイーグルス

スワロー兵庫 23（13−6 / 10−11）17 千葉教員

あかぎク（群馬）17（10−8 / 7−8）16 愛知教員A

沖縄教員 22（9−5 / 13−8）13 富山教職員A

埼玉バッカス 27（12−5 / 15−11）16 大阪ハンターズ

岐阜教員 17（8−8 / 9−6）14 佐賀教員葉隠

静岡県教員団 30（11−13 / 19−8）21 福井教員

京都教員 31（15−3 / 16−5）8 愛媛教員

若潮ナッツ 30（18−13 / 12−12）25 北海道教員

宮崎教員 30（15−11 / 15−14）25 石川県教職員団

大阪イーグルス 32（13−9 / 19−6）15 神奈川教員

▶ 3回戦

栃の葉ク 31（14−12 / 17−11）23 滋賀教員

わかくさク 23（12−4 / 11−10）14 茨苑ク

山口県教員団A 27（9−9 / 10−10 / 4−2 / 4−3）24 埼玉教員ク

あかぎク	19	(10－8 / 9－10)	18	スワロー兵庫
沖縄教員	25	(16－7 / 9－7)	14	埼玉バッカス
岐阜教員	29	(14－8 / 15－15)	23	静岡県教員団
京都教員ク	32	(12－5 / 20－9)	14	若潮ナッツ
大阪イーグルス	35	(18－6 / 17－9)	15	宮城教員

▶準々決勝

栃の葉ク	27	(12－8 / 15－11)	19	わかくさク
あかぎク	24	(12－10 / 12－12)	22	山口県教員団A
沖縄教員	33	(14－7 / 19－6)	13	岐阜教員
大阪イーグルス	17	(9－11 / 8－5)	16	京都教員

準決勝

栃の葉ク	21	(10－11 / 11－6)	17	あかぎク
沖縄教員	25	(12－7 / 13－12)	19	大阪イーグルス

▶3位決定戦

大阪イーグルス	22	(15－10 / 7－12)	22	あかぎク
		3PTC1		

▶決勝

沖縄教員	32	(17－12 / 15－11)	23	栃の葉ク

〔優勝メンバー・沖縄教員〕監督／新垣健　選手／新垣新一郎，高良靖，黒島宣昭，松田甚栄，名嘉賢雄，新垣志信，宮城剛，上原健，内原英洋，新里泰司，喜舎場淳一，東江正作，高良茂，知念正則，宮城靖。

▽ベストセブン

・GK	新垣泰一郎	(沖縄)	初
・FP	喜舎場淳一	(沖縄)	初
	東江　正作	(沖縄)	初
	武井　一浩	(栃の葉)	③
	滝口　孝之	(栃の葉)	⑥
	辻本　孝仁	(イーグ)	⑥
	岡田　茂	(あかぎ)	③

〈女子〉

▶1回戦

群馬教員	17	(8－4 / 9－2)	6	大阪コスモス
チェイサー(大阪)		(不戦勝)		宮崎教員
寝屋川ク(大阪)	16	(8－7 / 8－7)	14	山口教員
滋賀教員	19	(8－5 / 11－12)	17	栃の葉女子教職員(栃木)

▶2回戦

愛知教員	22	(12－5 / 10－6)	11	群馬教員
神奈川教員	19	(9－7 / 10－10)	17	チェイサー
千葉ク	23	(11－9 / 12－8)	17	寝屋川ク
京都教員	33	(16－4 / 17－6)	10	滋賀教員

▶準決勝

愛知教員24（14－5 / 10－6）11神奈川教員

京都教員25（12－6 / 13－3）9千葉ク

▶3位決定戦

千葉ク17（9－9 / 8－5）14神奈川教員

▶決勝

京都教員25（12－4 / 13－10）14愛知教員

〔優勝メンバー・京都教員〕監督／審愛玲　選手／畑添真由美，矢野弥生，多田幸，森山恵理子，池上由美，藤田みゆき，谷坂葉子，渡辺衆子，花田由子，大野美加，勝原雅美，堂端純子，坂本由美，吉川多津子。

▽ベストセブン

・GK	三宅　由恵	（愛知）	③
・FP	矢野　弥生	（京都）	⑤
	池上　由美	（京都）	初
	藤田みゆき	（京都）	③
	大久保恵子	（愛知）	②
	大森妃路美	（千葉）	初
	土屋　智子	（神奈川）	初

第28回
全日本実業団選手権
（男子の部）

昭和62年4月24日～26日
（愛知・愛知県体育館）

▶1回戦

トヨタ車体20（8－5 / 12－12）17本田技研熊本

トヨタ自動車22（9－8 / 13－12）20三陽商会

日新製鋼27（12－15 / 15－8）23三景

中村荷役運輸29（14－7 / 15－11）18セントラル自動車

▶2回戦

湧永製薬34（23－6 / 11－3）9トヨタ車体

大崎電気36（16－7 / 20－9）16中村荷役運輸

大同特殊鋼45（24－5 / 21－9）14トヨタ自動車

本田技研鈴鹿23（8－10 / 15－8）18日新製鋼

▶9～12位決定戦

三景25（12－6 / 13－8）14本田技研熊本

三陽商会20（8－7 / 12－7）14セントラル自動車

▶11位決定戦

本田技研熊本22 (9−8 / 13−5) 13セントラル自動車

▶ 9位決定戦

三景21 (8−8 / 9−9 / 1−0 / 3−0) 17三陽商会

▶ 5～8位決定1回戦

日新製鋼21 (13−4 / 8−10) 14トヨタ車体

トヨタ自動車26 (13−6 / 13−10) 16中村荷役運輸

▶ 7位決定戦

トヨタ車体18 (8−7 / 10−10) 17中村荷役運輸

▶ 5位決定戦

トヨタ自動車23 (11−7 / 12−8) 15日新製鋼

▶ 準決勝

湧永製薬23 (14−4 / 9−9) 13大同特殊鋼

大崎電気29 (14−12 / 15−12) 24本田技研鈴鹿

▶ 3位決定戦

本田技研鈴鹿19 (10−12 / 9−6) 18大同特殊鋼

▶ 決勝

大崎電気28 (13−12 / 15−11) 23湧永製薬

〔優勝メンバー・大崎電気〕監督／佐藤章治　選手／岡部大，渡辺裕昭，矢内浩，松岡寛，大和田和利，武田英雄，首藤信一，中田親広，山本興道，越迫敏博，菅田信也，大野達也，山内聡，柏崎信雄，相馬英司，宮下和広。

▽ベストセブン

・GK　矢内　浩（大崎）　初
・GP　首藤　信一（大崎）　初
　　　宮下　和広（大崎）　②
　　　山本　興道（大崎）　初
　　　玉村　健次（湧永）　初
　　　酒巻　清治（湧永）　初
　　　立木　浩二（本田鈴）　②

第28回
全日本実業団選手権
（女子の部）

昭和62年5月8日～10日
（大阪・大阪市中央体育館）

▶ 1回戦

日本ビクター29 (14−6 / 15−6) 12ムネカタ

ソニー国分17 (6−8 / 11−8) 16ジャスコ

シャトレーゼ27 (11−9 / 16−7) 16大和銀行

北国銀行34 (15−10 / 19−13) 23東京重機

▶ 2回戦

日立栃木24 (9−11 / 11−9 / 3−1 / 1−1) 22日本ビクター

大崎電気36 (21−8 / 15−10) 18ソニー国分

シャトレーゼ 20（8－5／12－4）9 ブラザー工業

立石電気山鹿 23（12－9／8－11／1－1／2－0）21 北国銀行

▶ 9～12位決定1回戦

大和銀行 36（16－3／20－7）10 ムネカタ

ジャスコ 33（15－7／18－6）13 東京重機

▶11位決定戦

東京重機 24（14－9／10－7）16 ムネカタ

▶ 9位決定戦

大和銀行 25（15－7／10－11）18 ジーャスコ

▶ 5～8位決定1回戦

日本ビクター 19（6－13／13－5）18 ブラザー工業

北国銀行 21（10－8／11－9）17 ソニー国分

▶ 7位決定戦

ブラザー工業 25（13－6／12－11）17 ソニー国分

▶ 5位決定戦

北国銀行 27（16－14／11－10）24 日本ビクター

▶準決勝

大崎電気 36（14－11／22－12）23 日立栃木

シャトレーゼ 24（15－8／9－11）19 立石電機山鹿

▶ 3位決定戦

立石電機山鹿 27（11－12／16－8）20 日立栃木

▶決勝

大崎電気 25（10－8／15－10）18 シャトレーゼ

〔優勝メンバー・大崎電気〕監督／佐藤章治　選手／大西佐代子，佐々木和子，鈴木美佐，森田初美，松尾輝子，須永光恵，石井美沙子，沖山千恵子，徳渕妙子，越智葉，金王花，福井幸代，尹乗順，江口喜栄子，前川美弥。

▽ベストセブン

・ＧＫ	丸山　房江	（シャト）	初
・ＦＰ	金　　玉花	（大崎）	初
	尹　　乗順	（大崎）	初
	徳渕　妙子	（大崎）	初
	海道　元子	（シャト）	初
	嶋崎　純子	（シャト）	初
	斉藤八千代	（立石）	初

第18回全日本実業団トーナメント大会

昭和62年2月7日～9日

（広島・呉市体育館ほか）

▶ 1回戦

大阪ガス 22（9－9／13－8）17 金沢市役所

徳山曹達 30（14－10／16－11）21 三井石油化学千葉

日本電装 31（14－6／17－9）15 神戸製鋼

セントラル自動車	36	17－8 19－4	12	陸自東立川
武田薬品光	33	16－7 17－10	17	日本原子力研究所
トヨタ車体	35	16－5 19－4	9	自衛隊勝田
北陸電力	25	11－7 14－7	14	日本鋼管福山
日鉄建材	30	16－4 14－8	12	出光千葉
トヨタ自動車	42	20－4 22－4	8	三井石油化学山口
竹芝精巧	26	8－8 12－12 4－1 2－3	24	新日鉄大分
日本耐酸壜	18	11－9 7－8	17	日本発条
自衛隊呉	43	18－8 25－10	18	コスモ石油
豊田自動織機	23	12－8 11－9	17	住友金属
東京重機	23	12－11 11－6	17	豊田合成
新日鉄名古屋	14	5－8 9－5	13	コスモ石油松山
本田技研爽風会	40	23－5 17－5	10	鐘淵化学

▶ 2回戦

大阪ガス	28	14－11 14－10	21	徳山曹達
セントラル自動車	25	12－8 13－7	15	日本電装
トヨタ車体	29	18－5 11－9	14	武田薬品光
日鉄建材	35	20－3 15－7	10	北陸電力
トヨタ自動車	27	13－2 14－11	13	竹芝精巧
自衛隊呉	26	13－6 13－7	13	日本耐酸壜
豊田自動織機	23	12－5 11－6	11	東京重機
本田技研爽風会	27	14－6 13－6	12	新日鉄名古屋

▶ 3回戦

セントラル自動車	30	17－12 13－12	24	大阪ガス
トヨタ車体	31	13－12 18－8	20	日鉄建材
トヨタ自動車	33	15－11 18－10	21	自衛隊呉
本田技研爽風会	31	16－10 15－11	21	豊田自動織機

▶ 準決勝

トヨタ車体	26	14－4 12－16	20	セントラル自動車
トヨタ自動車	33	13－10 20－9	19	本田技研爽風会

▶ 3位決定戦

セントラル自動車	28	16－11 12－10	21	本田技研爽風会

▶ 決勝

トヨタ自動車	21	11－5 10－10	15	トヨタ車体

〔優勝メンバー・トヨタ自動車〕監督

／小島博　選手／中西哲也，西井稔，香井隆悠，川田和彦，相本英俊，堀江恒夫，中西孝治，乙子秀雄，宮崎裕治，坂口俊幸，平野裕義，白坂嘉章，松尾和明，田村良人，徳原宏一。

第19回全日本実業団トーナメント大会

昭和63年２月５日～７日
（愛知県体育館）

▶１回戦

三陽商会	41	18－6 23－10	16	アイシン精機
新日鉄大分	31	10－12 21－5	17	東京重機
住友金属和歌山	25	9－8 16－13	21	日本ガイシ
日鉄建材	34	14－6 20－6	12	興亜石油
豊田自動織機	33	18－5 15－2	7	自衛隊勝田
日本発条	23	12－8 11－9	17	北陸電力
豊田合成	36	18－6 18－11	17	日本鋼管福山
本田技研爽風会	41	19－4 22－4	8	関東自動車工業
本田技研熊本	47	23－3 24－7	10	ワールド
金沢市役所	24	11－8 13－7	15	自衛隊久里浜
日本電装	32	15－8 17－12	20	コスモ石油
大阪ガス	35	16－9 19－11	20	徳山曹達
竹芝精巧	19	8－8 11－9	17	自衛隊呉
新日鉄名古屋	23	6－10 17－10	20	出光興産
神戸製鋼所	22	8－11 14－10	21	三井石化千葉
セントラル自動車	37	17－3 20－14	17	日本耐酸壜

▶２回戦

三陽商会	35	16－6 19－8	14	新日鉄大分
日鉄建材	38	19－8 19－8	16	住友金属和歌山
豊田自動織機	17	8－6 9－5	11	日本発条
本田技研爽風会	27	11－7 16－10	17	豊田合成
本田技研熊本	28	14－9 14－10	19	金沢市役所
日本電装	23	13－9 10－12	21	大阪ガス
竹芝精巧	29	17－7 12－17	24	新日鉄名古屋
セントラル自動車	34	18－5 16－6	11	神戸製鋼所

▶３回戦

三陽商会	38	21－10 17－10	20	日鉄建材

本田技研爽風会30（11−13 19−8）21豊田自動織機

本田技研熊本41（20−9 21−12）21日本電装

竹芝精巧25（9−10 16−11）21セントラル自動車

▶準決勝

三陽商会35（15−9 20−9）18本田技研爽風会

本田技研熊本36（18−14 18−9）23竹芝精巧

▶3位決定戦

竹芝精巧25（11−12 14−12）24本田技研爽風会

▶決勝

三陽商会27（13−10 14−8）18本田技研熊本

〔優勝メンバー・三陽商会〕監督／近森克彦　選手／宇田川敏郎，吉田修，関健三，清家伸二，田口長雄，砂川正雄，山口哲史，浜田雄次，実方智，安藤文人，河村徹，吉原一志，太塚智浩。

第16回 全国中学校大会

昭和62年8月21日〜24日
（岐阜・岐阜県民体育館）

〈男子〉

▶1回戦

豊中第二（大阪）10（5−3 5−6）9金津（福井）

春日井中部（愛知）32（15−4 17−8）12倉敷南（岡山）

喜久田（福島）22（11−5 11−8）13赤坂（岐阜）

桜木（東京）19（7−11 12−5）16安慶田（沖縄）

下松（山口）26（11−3 15−8）11湯川（北海道）

都呂々（熊本）23（11−8 12−11）19中野（埼玉）

板津（石川）15（6−7 9−7）14西笹川（三重）

木太（香川）17（5−9 12−7）16小部（兵庫）

▶2回戦

春日井中部17（9−7 8−7）14豊中第二

桜木23（10−9 13−8）17喜久田

都呂々22（11−8 11−7）15下松

板津19（8−8 11−5）13木太

▶準決勝

春日井中部17（7−7 10−8）15桜木

都呂々19（10−6 9−9）15板津

▶決勝

都呂々18（10−6 8−6）12春日井中部

〔優勝メンバー・都呂々〕監督／矢住嘉孝　選手／鎌田公二，平田浩一，長

田文典，松本和久，田尻浩次，前川敏士，松尾行浩，松本幸介，武藤道裕，松村広明，濱田裕二，平田泰章，青瀬健，坂本忠親，松本真一。

〈女子〉

▶1回戦

伊奈東（茨城）	13	5－2 8－5	7	豊中第十（大阪）
矢田（愛知）	18	8－5 10－12	17	下松（山口）
桜丘（岐阜）	21	10－2 11－3	5	湯川（北海道）
御幸（石川）	13	7－7 6－4	11	明野（大分）
西笹川（三重）	20	8－2 12－4	6	安慶田（沖縄）
小杉（富山）	18	4－8 14－2	10	山田（香川）
中野（埼玉）	31	16－4 15－4	8	中田（宮城）
大瀬（奈良）	16	7－3 9－3	6	境港第二（鳥取）

▶2回戦

伊奈東	14	5－7 9－4	11	矢田
御幸	15	8－4 7－6	10	桜丘
小杉	14	6－2 8－5	7	西笹川
大瀬	13	6－5 7－3	8	中野

▶準決勝

御幸	15	5－5 6－6 2－0 2－2	13	伊奈東
小杉	11	4－3 7－5	8	大瀬

▶決勝

小杉	10	4－4 6－3	7	御幸

〔優勝メンバー・小杉〕監督／大房恵美子　選手／島倉美幸，杉森陽子，大郷多恵，大前佳世，田町恵理子，川腰育子，近藤直美，島早苗，下条陽子，高尾淳子，砂原文子，宮腰純子，石田幸代，大門優子，宮城真須美。

第14回 全国高専大会

昭和62年8月4日～5日
（宮城・仙台市）

▶1回戦

宇部（山口）	23	13－6 10－8	14	沼津（静岡）
和歌山（和歌山）	34	15－11 19－4	15	宮城（宮城）
長岡（新潟）	26	13－10 13－12	22	明石（兵庫）

▶2回戦

桐陰学園（神奈川）	22	7－8 10－9 0－2 5－3	21	宇部
和歌山	34	17－13 17－16	29	豊田（愛知）

八　　代26（14－9 / 12－11）20秋　　田
（熊本）　　（秋田）

長　　岡33（19－9 / 14－8）17富　　山
　　（富山）

▶準決勝

桐陰学園32（14－9 / 18－10）19和歌山

八　　代21（8－11 / 13－9）20長　　岡

▶決勝

桐陰学園31（16－7 / 15－15）22八　　代

〔優勝メンバー・桐陰学園〕監督／渡辺信　選手／佐藤栄一，内藤聡，佐藤一雄，和田充史，梶尾恭弘，皆川幸司，大塚孝幸，早川靖，角田雅哉，野場智英，七原説文，田ノ岡史時，木村純一，市川竜也，中田寛。

第7回
全国クラブ選手権

昭和62年8月15日～17日
（秋田・湯沢市）

〈男子〉

▶予選リーグ

○A組

境港ク（鳥取）	25－13	ボンチフェローズ（大阪）

〔順位〕①境港ク②ボンチフェローズ

○B組

大同ク（愛知）	23－22	花巻ク（岩手）

〔順位〕①大同ク②花巻ク

○C組

氷見ク（富山）	21－15	白亜ク（岩手）
氷見ク	19－18	桜門ク（関東）
桜門ク	20－15	白亜ク

〔順位〕①氷見ク②桜門ク③白亜ク

○D組

日川ク（山梨）	34－15	清商ク（静岡）
日川ク	26－12	徳山ク（山口）
徳山ク	28－20	清商ク

〔順位〕①日川ク②徳山ク③清商ク

○E組

湯川ク（秋田）	23－20	日吉ユニオンズ（神奈川）
高知ク（高知）	22－21	湯沢ク
日吉ユニオンズ	18－13	高知ク

〔順位〕①湯沢ク②日吉ユニオンズ③高知ク

○F組

マツダク（秋田）	19－15	生駒ク（奈良）
学芸球駿会（東京）	20－20	マツダク
学芸球駿会	25－15	生駒ク

〔順位〕①学芸球駿会②マツダク③生駒ク

○Ｇ組

小松ク（石川）	19－7	蒲生ク（滋賀）
小松ク	22－18	山形ク（山形）
山形ク	19－15	蒲生ク

〔順位〕①小松ク②山形ク③蒲生ク

○Ｈ組

野辺地ク（青森）	23－19	県和商ク（和歌山）
野辺地ク	26－18	４６Ｇ会（埼玉）
県和商ク	17－15	４６Ｇ会

〔順位〕①野辺地ク②県和商ク③４６Ｇ会

▶１回戦

境港ク25（14－9、11－12）21花巻ク

野辺地ク32（13－9、19－4）13マツダク

湯沢ク31（11－7、20－6）13山形ク

日川ク28（15－10、13－8）18桜門ク

氷見ク34（15－5、19－8）13徳山ク

県和商ク25（10－8、15－13）21学芸球駿会

小松ク19（9－5、10－9）14日吉ユニオンズ

大同ク25（12－4、13－10）14ボンチフェローズ

▶２回戦

境港ク24（12－9、12－7）16野辺地ク

日川ク30（12－6、18－8）14湯沢ク

氷見ク28（13－9、15－5）14県和商ク

大同ク25（14－10、11－9）19小松ク

▶準決勝

境港ク22（8－12、14－9）21日川ク

大同ク21（10－5、11－13）18氷見ク

▶決勝

大同ク22（11－8、11－10）18境港ク

〔優勝メンバー・大同ク〕監督／松浦召　選手／柳川清，小野健三，柳川実，藤中憲二，加藤友弘，中井武三，松原光三，大原真造，更谷章二，清崎考，桑幡俊弘，鈴木宏明。

〈女子〉

▶予選リーグ

○イ組

ＦＣＣ（福岡）	15－8	全和洋（秋田）
全和洋	8－4	ポストク（静岡）
ＦＣＣ	21－6	ポストク

〔順位〕①ＦＣＣ②全和洋③ポストク

○ロ組

レキオク	19－10	武蔵野ク

（沖縄）　（東京）
レキオク　17－8　御成ク
　（茨城）
武蔵野ク　9－8　御成ク
〔順位〕①レキオク②武蔵野ク③御成ク

○ハ組
風見鶏ク　16－9　野辺地ク
（兵庫）　（青森）
日川ク　15－8　野辺地ク
（山梨）
日川ク　10－8　風見鶏ク
〔順位〕①日川ク②風見鶏ク③野辺地ク

○ニ組
あゆみク　13－12　全福井
（三重）　（福井）
大農ＯＧ　14－13　全福井
（秋田）
あゆみク　22－12　大農ＯＧ
〔順位〕①あゆみク②大農ＯＧ③全福井

▶１回戦

FCC 22（10－3 / 12－10）13 武蔵野ク

日川ク 27（14－3 / 13－9）12 大農ＯＧ

レキオク 18（9－7 / 9－9）16 全和洋

あゆみク 24（11－4 / 13－6）10 風見鶏ク

▶準決勝

FCC 26（12－2 / 14－9）11 日川ク

あゆみク 22（7－9 / 8－6 / 4－0 / 3－1）16 レキオク

▶決勝

あゆみ 17（6－4 / 4－6 / 3－1 / 0－2 / 4－0 / 0－2）15 FCC

〔優勝メンバー・あゆみク〕監督／鈴木義男　選手／矢部登茂子，木村貴代美，辻本典子，山下仁美，伊勢純世，石田裕子，寺沢路子，宮崎充代，今里照美，池内秀子，鷲野千代子，三木和子。

第19回
全日本自衛隊選手権

昭和62年10月５日～７日
（東京・駒沢体育館）

・優勝　自衛隊呉（広島）
・２位　自衛隊久里浜（神奈川）
・３位　自衛隊勝田（茨城）

優勝メンバー／監督　塩見博，コーチ／池田三男　選手／一二利彦，須克繁己，山先秀史，寿賀良昭，塩見博，石川寿，児玉英彦，小谷郁樹，池田三男，岡田正浩，村岡康弘，利光昭広，谷口浩，山根隆二，瀬戸義弘。

（注）上記以外の記録・資料なし

ブロック・チャンピオンズ

◇第27回北海道総合室内選手権
・男　ミクロマンズ
・女　上磯クラブ

◇第24回東北総合室内選手権
・男　花巻クラブ（岩手）
・女　ムネカタ（福島）

◇第34回関東（女子のみ）選手権
・シャトレーゼ（山梨）

◇第39回東海選手権
・男　本田技研鈴鹿（三重）
・女　ジャスコ（三重）

◇第27回東海室内選手権
・男　本田技研鈴鹿（三重）
・女　ジャスコ（三重）

◇第32回中国一般選手権
・男　湧永製薬（広島）
・女（第15回）　天城クラブ（岡山）

◇第37回四国選手権（男子のみ）
・オール愛媛

◇第23回九州選手権（男子のみ）
・浦添クラブ（沖縄）

◇第26回（女子第７回）５大都市体育大会
・男　京都市
・女　名古屋市

昭和62年度 地域国体

◇北海道
・成年男子　函館有斗クラブ
　　女子　上磯クラブ
・少年男子　函館選抜
　　女子　函館選抜

◇東北
・成年男子　岩手（花巻ク）
・成年女子　福島（ムネカタ）
・少年男子　秋田（湯沢高）
　　女子　宮城（全宮城）

◇北信越
・成年女子　石川（北国銀行）
・少年男子　石川（石川選抜）
　　女子　石川（小松連合）

◇関東
・成年女子　山梨（シャトレーゼ）
・少年男子　千葉（高校選抜）
　　女子　東京（高校選抜）

◇東海
・成年女子　三重（ジャスコ）
・少年男子　愛知（県選抜）
　　女子　愛知（県選抜）

◇近畿
・成年女子　大阪（大和銀行）
・少年男子　大阪（高校選抜）
　　女子　滋賀（彦根商高）

◇中国
・成年女子　広島（広島クラブ）

・少年男子　岡山（県選抜）
　　女子　山口（県選抜）

◇四国

・成年女子　香川（香川選抜）
・少年男子　愛媛（愛媛選抜）
　　女子　愛媛（愛媛選抜）

◇九州

・成年女子　熊本（立石電機山鹿）
・少年男子　福岡（久工大附高）
　　女子　熊本（熊本選抜）

各地学生リーグ戦

◇北海道

・春季男　函　館　大
　　女　ナシ
・秋季男　函　館　大
　　女　北海道教大旭川

◇東北

・春季男　東北学院大
　　女　岩　手　大
・秋季男　東北学院大
　　女　東北福祉大

◇北信越

・春季男　金　沢　大
　　女　富　山　大
・秋季男　金沢工大
　　女　金　沢　大
・北信越学生選手権（第13回）
　　男　福　井　大
　　女　金　沢　大

◇関東

・春季男　早　　大
　　女　東女体大
・秋季男　日　体　大
　　女　東女体大

◇東海

・春季男　中　部　大
　　女　中京女大
・秋季男　中　京　大
　　女　中京女大

◇関西

・春季男　大阪体大
　　女　武庫川女大
・秋季男　大阪体大
　　女　大阪体大

◇中四国

・春季男　松山商大
　　女　岡　山　大
・秋季男　山　口　大
　　女　岡　山　大

◇九州選手権

　　男（第25回）　福　岡　大
　　女（第12回）　福　岡　大

各地域実業団選手権

◇第12回関東

・男　三　景（東京）
・女（第４回）　大崎電気（埼玉）

◇第23回東海

・男　本田技研鈴鹿（三重）

・女　ブラザー工業(愛知)
　　ジャスコ(三重)　}両者優勝

各地域クラブ選手権

◇第10回東北
・男　花巻クラブ（岩手）
・女　野辺地クラブ（青森）

◇第17回関東
・男　日川クラブ（山梨）
・女　日川クラブ（山梨）

◇第18回東海
・男　本田クラブ（三重）
・女　あゆみクラブ（三重）

◇第17回近畿クラブ対抗
・男　東山クラブ（京都）
・女　風見鶏クラブ（兵庫）

◇第17回九州（女子のみ）
・ＦＣＣ（福岡）

各地域高校選手権

◇第38回北海道
男・函館有斗
女・上　　磯

◇第40回東北
男・湯　　沢（秋田）
女・大曲農（秋田）

◇第23回北信越
男・高岡向陵（富山）
女・小松商（石川）

◇第33回関東
男・明　　星（東京）
女・佼成女（東京）

◇第34回東海
男・四日市工（三重）
女・名短大付（愛知）

◇第30回近畿
男・上　　宮（大阪）
女・彦根商（滋賀）

◇第38回中国
男・下松工（山口）
女・岩国農（山口）

◇第36回四国
男・新居浜工（愛媛）
女・今治北（愛媛）

◇第37回九州
男・久留米工大附（福岡）
女・熊本女商（熊本）

各地域中学校大会

◇第16回北海道
男・湯　　川
女・湯　　川

◇第16回東北
男・喜久田（福島）
女・中　田（宮城）

◇第８回北信越
男・

女・
◇第16回関東
男・桜　　木（東京）
女・伊奈東（茨城）
◇第18回東海
男・春日井中部（愛知）
女・西笹川（三重）
◇第36回近畿
男・小　　部（兵庫）
女・大　　瀬（奈良）
◇第15回中国
男・
女・
◇第16回四国
男・高松木太（香川）
女・高松山田（香川）
◇第16回九州
男・
女・

国際大会成績

（1987年度の主要国際大会の成績と，全日本関係，国際交流試合の結果を掲載しました）

第4回 アジア男子選手権

〔8月21日～29日・ヨルダン〕

◇予選リーグ・1組

韓国	38—21	バーレーン
韓国	35—26	台湾
バーレーン	26—25	台湾

・2組

ヨルダン	24—14	ネパール
クウェート	26—10	カタール
ヨルダン	23—23	カタール
クウェート	41—6	ネパール
カタール	41—11	ネパール
クウェート	31—12	ヨルダン

・3組

日本	27（12—6 15—6）12	中国
シリア	24—14	パレスチナ
日本	24（14—9 10—9）18	シリア
中国	37—17	パレスチナ
日本	33（16—4 17—9）13	パレスチナ
中国	30—18	シリア

◇決勝リーグ進出国決定戦

クウェート	29—18	バーレーン
韓国	38—20	中国
日本	35（12—9 23—3）12	カタール

◇10・11位決定戦

パレスチナ	32—22	ネパール

◇7～9位決定リーグ

シリア	22—18	ヨルダン
台湾	28—20	シリア
台湾	42—25	ヨルダン

〔順位〕⑦台湾⑧シリア⑨ヨルダン

◇4～6位決定リーグ

中国	21—19	バーレーン
中国	21—15	カタール
バーレーン	17—12	カタール

〔順位〕④中国⑤バーレーン⑥カター

ル

◇決勝リーグ

韓　　国28（11—12 / 17—12）24バーレーン

韓　　国　36—31　クウェート

日　　本25（12—12 / 13—11）23クウェート

〔順位〕①韓国②日本（ソウル・オリンピックアジア代表権獲得）③クウェート

〔優勝メンバー・韓国〕監督／柳在忠　選手／・GK尹泰一，朴光洙　・FP金載煥，申栄錫，朴道憲，朴英大，高錫昌，呉竜基，姜在源，李相孝，沈載弘，林珍錫，盧鉉錫。

〔日本代表〕役員／荒川清美，北川勇喜　監督／野田清　コーチ／津川昭，佐藤要二，塙敏　選手／・GK井藤英忠，矢内浩，橋本行弘　・FP西山清，山本興道，玉村健次，朝生和光，首藤信一，酒巻清治，高村誠一，立木浩二，田口隆，宮下和弘，奥田新治，荷川取義浩，藤井泉。

第1回 アジア女子選手権

（8月20日～28日・ヨルダン）

◇予選リーグ・1組

韓　　国32（17—7 / 15—9）16日　　本

韓　　国　42—11　台　　湾

日　　本35（15—8 / 20—12）20台　　湾

・2組

中　　国　50—8　ヨルダン

中　　国　40—7　シリア

シリア　25—11　ヨルダン

◇5・6位決定戦

台　　湾　43—15　ヨルダン

◇決勝トーナメント・1回戦

中　　国34（12—11 / 12—13 / 延長 / 2—2 / 4—4 / 延長 / 2—0 / 2—1）31日　　本

韓　　国　37—6　シリア

◇3・4位決定戦

日　　本23（13—4 / 10—5）9シリア

◇決勝戦

韓　　国34（16—11 / 18—13）24中　　国

〔優勝メンバー・韓国〕監督／高丙勲　選手／・GK孫美娜，尹秀郷，金英淑　・FP金銀愛，金春礼，金名順，李基順，趙化善，金賢美，奇美淑，任美環，金京純，成京花，石旼熹，金好連。

〔日本代表〕監督／井薫　コーチ／樫塚正一，水上一　選手／・GK葛生豊子，小深田由紀子，村山みどり　・FP武藤夕起子，岩村英子，野嶋ちえみ，

近藤育子，小池宏子，前田重子，山岸和子，井沢由美子，磯山弘美，丸田紀子，中嶋恵美子，林智恵，比嘉晴美。

第6回世界男子選手権 Bグループ

（1987年2月17日～28日・イタリア）

◇予選リーグ・A組

ルーマニア 29—23 フィンランド
ポーランド 20—16 イタリア
ポーランド 35—23 フィンランド
ルーマニア 23—14 イタリア
ポーランド 27—21 ルーマニア
イタリア 19—19 フィンランド

・B組

ノルウェー 24（9—11 / 15—11）22 日本
ソ連 29—19 フランス
ソ連 31（14—7 / 17—7）14 日本
フランス 26—23 ノルウェー
フランス 24（10—9 / 14—13）22 日本
ソ連 32—25 ノルウェー

・C組

スイス 24—19 チュニジア
デンマーク 25—15 ブルガリア
デンマーク 28—15 チュニジア
スイス 17—16 ブルガリア
ブルガリア 21—20 チュニジア
デンマーク 15—15 スイス

・D組

チェコ 39—10 ブラジル
西ドイツ 24—13 アメリカ
チェコ 25—16 アメリカ
西ドイツ 35—23 ブラジル
アメリカ 23—13 ブラジル
チェコ 24—23 西ドイツ

◇準決勝リーグ・I組

ルーマニア 27—19 フランス
ポーランド 34—24 ノルウェー
ソ連 27—12 イタリア
ノルウェー 24—19 イタリア
ソ連 30—22 ルーマニア
ポーランド 31—22 フランス
イタリア 20—20 フランス
ソ連 33—27 ポーランド
ルーマニア 31—26 ノルウェー

・II組

デンマーク 23—15 アメリカ
チェコ 21—21 ブルガリア
西ドイツ 22—17 スイス
ブルガリア 21—19 アメリカ
西ドイツ 23—17 デンマーク
チェコ 20—19 スイス
西ドイツ 25—18 ブルガリア
チェコ 23—20 デンマーク
スイス 26—10 アメリカ

◇13～16位決定リーグ

フィンランド 32—23 チュニジア
日本 23（8—6 / 15—10）16 ブラジル

チュニジア25（8—15 / 17—7）22日　本

フィンランド　40—25　ブラジル

フィンランド33（15—12 / 18—15）27日　本

ブラジル　27—25　チュニジア

〔順位〕⑬フィンランド⑭日本⑮チュニジア⑯ブラジル

◇11・12位決定戦

アメリカ20（12—9 / 8—8）17イタリア

◇9・10位決定戦

ノルウェー29（14—11 / 15—15）26ブルガリア

◇7・8位決定戦

デンマーク23（12—10 / 11—9）19フランス

◇5・6位決定戦

ルーマニア22（12—12 / 10—7）19スイス

◇3・4位決定戦

ポーランド24（13—8 / 11—12）20西ドイツ

◇決勝戦

ソ連23（12—9 / 11—7）16チェコ

〔優勝メンバー・ソ連〕監督／エウトチェンコ　選手／・GK　スチペンコ，ドロシェンコ，チュマク，・FP　ツチキン，リマノフ，シェプキン，カルシャケビッチ，リバコフ，スビリデンコ，ゴピン，チュメンゼフ，バシリエフ，シェフゾフ，ディヤコフ，バルスカス，ノビッキー。

〔日本代表〕団長／金原至　ヘッドコーチ／津川昭　コーチ／佐藤要二，塙敏　選手／・GK井藤英忠，上村幸彦，矢内浩，・FP西山清，楢原隆雄，玉村健次，内藤裕治，首藤信一，酒巻清治，高村誠一，立木浩二，田口隆，宮下和広，奥田新治，市川修，藤井泉。

〔個人得点ベストテン〕

①ロンベリ（フィンランド）	50
①カルマン（フィンランド）	50
③チオンチオ（イタリア）	49
④ベルベス（ルーマニア）	43
⑤スティンガ（ルーマニア）	42
⑥ベンタ（ポーランド）	40
⑦ツチキン（ソ連）	39
⑧フラッツ（西ドイツ）	36
⑧ラスミューゼン（デンマーク）	36
⑩シェフゾフ（ソ連）	35

第5回世界女子選手権 Bグループ

（1987年12月9日～20日・ブルガリア）

◇予選リーグ・A組

ユーゴ	29—24	ポーランド
ハンガリー	30—17	スペイン
ハンガリー	26—24	ポーランド
ユーゴ	28—18	スペイン
ポーランド	29—13	スペイン

ユーゴ	24—22	ハンガリー

・B組

東ドイツ	34—14	カナダ
中国	27—21	コートジボアール
中国	28—19	カナダ
東ドイツ	31—10	コートジアボール
カナダ	21—14	コートジボアール
東ドイツ	27—17	中国

・C組

デンマーク	19—18	オランダ
ルーマニア	18—17	ブルガリア
ルーマニア	29—20	デンマーク
ブルガリア	23—18	オランダ
ルーマニア	19—18	オランダ
デンマーク	21—17	ブルガリア

・D組

西ドイツ	18—13	フランス
オーストリア	31—16	ブラジル
オーストリア	20—18	フランス
西ドイツ	31—11	ブラジル
フランス	26—13	ブラジル
オーストリア	19—15	西ドイツ

◇準決勝リーグ・I組

ハンガリー	30—21	中国
ユーゴ	26—17	カナダ
東ドイツ	24—15	ポーランド
ユーゴ	26—20	中国
東ドイツ	19—19	ハンガリー
ポーランド	23—15	カナダ
ユーゴ	22—18	東ドイツ
ハンガリー	45—14	カナダ
ポーランド	27—22	中国

・II組

オーストリア	24—17	ブルガリア
デンマーク	22—20	西ドイツ
ルーマニア	28—17	フランス
ブルガリア	22—19	フランス
ルーマニア	18—14	西ドイツ
オーストリア	19—18	デンマーク
ブルガリア	20—19	西ドイツ
ルーマニア	25—15	オーストリア
デンマーク	22—19	フランス

◇13〜16位決定リーグ

オランダ	25—21	スペイン
コートジボアール	21—21	ブラジル
スペイン	28—19	ブラジル
オランダ	25—16	コートジボアール
スペイン	26—19	コートジボアール
オランダ	20—17	ブラジル

〔順位〕⑬オランダ⑭スペイン⑮ブラジル⑯コートジボアール

◇11・12位決定戦

カナダ	24—21	フランス

◇9・10位決定戦

中国	19—17	西ドイツ

◇7・8位決定戦

ポーランド22（12—12 / 10—7）19ブルガリア

◇5・6位決定戦

東ドイツ21（11—8 / 10—9）17デンマーク

◇3・4位決定戦

ハンガリー22（12—5 / 10—12）17オーストリア

◇決勝戦

ユ ー ゴ23 $\left(\begin{matrix}13-11\\10-9\end{matrix}\right)$ 20ルーマニア

〔優勝メンバー・ユーゴ〕監督／ニッシエビッチ　コーチ／デュルビッチ　選手／・GKドサウリッチ，ズヌキタッチ　・FPストイノビッチ，カレガ，ブイチッチ，オブティチーナ，キティッチ，ヤンコビッチ，ミジチッチ，ロガノビッチ，ガニッチ，ガリッツ，L・ムゴーサ，S・ムゴーサ（アンティッチ），ボショビッチ。

〔個人得点ベスト10〕

①コラール（オーストリア）	60
②ティルカ（ルーマニア）	47
③李麗栄（中国）	41
④ナジ（ハンガリー）	38
④孫秀蘭（中国）	38
⑤メシェフスカ（ポーランド）	36
⑤ミシェル（東ドイツ）	36
⑧ツトコフスカ（ポーランド）	34
⑧マルティン（フランス）	34
⑧ブイチッチ（ユーゴ）	34

〔注〕日本はこの大会の出場権を得ていたが放棄。

第7回世界男子選手権 Cグループ

（1988年2月6日～14日・ポルトガル）

◇予選リーグ・A組

イタリア	28―13	ルクセンブルグ
イスラエル	27―18	ルクセンブルグ
ポルトガル	19―17	イスラエル
ポルトガル	22―12	ルクセンブルグ
イタリア	23―16	ポルトガル
イスラエル	18―17	イタリア

・B組

オランダ	28―19	トルコ
ベルギー	25―18	イギリス
オーストリア	20―19	トルコ
オランダ	34―12	イギリス
トルコ	28―11	イギリス
ベルギー	21―15	オーストリア
オランダ	19―19	ベルギー
オーストリア	37―15	イギリス
トルコ	21―19	ベルギー
オーストリア	18―15	オランダ

◇7・8位決定戦

トルコ	23―19	ルクセンブルグ

◇5・6位決定戦

ポルトガル	22―21	ベルギー

◇決勝リーグ

イスラエル	18―17	ベルギー
オランダ	22―17	イタリア
オランダ	23―22	イスラエル
オーストリア	26―19	イタリア

〔順位〕①オーストリア②オランダ③イスラエル④イタリア

第1回世界女子選手権
Cグループ

〔1986年10月31日～11月8日・スペイン〕

◇予選リーグ・A組

アイスランド	21―16	ポルトガル
オーストリア	30―14	フィンランド
デンマーク	30―11	フィンランド
オーストリア	24―16	ポルトガル
ポルトガル	21―16	フィンランド
デンマーク	30―23	アイスランド
デンマーク	33―18	ポルトガル
オーストリア	28―19	アイスランド
アイスランド	35―14	フィンランド
オーストリア	17―17	デンマーク

・B組

イタリア	17―14	イギリス
スウェーデン	12―11	スペイン
スウェーデン	25―8	イギリス
スペイン	21―10	スイス
スイス	12―12	イタリア
スペイン	29―7	イギリス
スイス	19―16	イギリス
スウェーデン	18―8	イタリア
スウェーデン	17―7	スイス
スペイン	25―16	イタリア

◇9・10位決定戦

フィンランド	21―11	イギリス

◇7・8位決定戦

スイス	20―16	ポルトガル

◇5・6位決定戦

アイスランド	23―11	イタリア

◇決勝リーグ

オーストリア	25―18	スウェーデン
スペイン	19―18	デンマーク
デンマーク	13―11	スウェーデン
オーストリア	21―16	スペイン

〔順位〕①オーストリア②デンマーク③スペイン④スウェーデン

第6回世界男子ジュニア選手権

〔12月3日～13日・ユーゴ〕

◇予選リーグ・A組

東ドイツ	27―27	アルジェリア
スウェーデン	15―15	アルジェリア
スペイン	17―12	東ドイツ
スウェーデン	32―23	スペイン
スウェーデン	24―22	東ドイツ
スペイン	22―16	アルジェリア

・B組

フランス	19―17	西ドイツ
デンマーク	27―23	クウェート
西ドイツ	26―15	クウェート
フランス	21―18	デンマーク
フランス	28―20	クウェート
西ドイツ	27―16	デンマーク

・C組

ソ連	30―23	ハンガリー

アイスランド	23—21	ノルウェー
ソ連	26—17	アイスランド
ノルウェー	25—22	ハンガリー
ソ連	23—17	ノルウェー
ハンガリー	33—30	アイスランド

・D組

ユーゴ	27—26	韓国
ルーマニア	23—21	チェコ
ユーゴ	27—24	ルーマニア
チェコ	31—29	韓国
ユーゴ	23—22	チェコ
ルーマニア	29—26	韓国

◇13～16位決定リーグ

東ドイツ	24—23	アイスランド
韓国	25—23	クウェート
東ドイツ	25—23	韓国
クウェート	27—26	アイスランド
東ドイツ	29—24	クウェート
韓国	32—25	アイスランド

〔順位〕⑬東ドイツ⑭韓国⑮クウェート⑯アイスランド

◇準決勝リーグ・I組

スペイン	23—22	西ドイツ
スウェーデン	27—14	デンマーク
フランス	21—16	アルジェリア
デンマーク	23—22	アルジェリア
西ドイツ	22—19	スウェーデン
スペイン	21—19	フランス
スペイン	25—18	デンマーク
西ドイツ	19—17	アルジェリア
スウェーデン	23—21	フランス

・II組

ルーマニア	27—17	ノルウェー
ユーゴ	24—21	ハンガリー
ソ連	33—19	チェコ
ハンガリー	28—27	チェコ
ユーゴ	28—21	ノルウェー
ソ連	24—13	ルーマニア
ノルウェー	25—25	チェコ
ユーゴ	19—18	ソ連
ハンガリー	26—24	ルーマニア

◇11・12位決定戦

チェコ24（14—11、10—7）18アルジェリア

◇9・10位決定戦

デンマーク24（13—10、11—12）22ノルウェー

◇7・8位決定戦

ハンガリー29（11—10、10—11、延長 1—0、1—2、延長 3—2、3—2）27フランス

◇5・6位決定戦

ルーマニア23（8—8、7—7、延長 2—1、2—3、延長 2—1、2—0）20西ドイツ

◇3・4位決定戦

ソ連34（15—8、19—10）18スウェーデン

◇決勝戦

ユーゴ28（12—13、16—13）26スペイン

〔優勝メンバー・ユーゴ〕コーチ／ミ

スコビッチ　選手／・GKストヤノビッチ，ホルニヤク　・FPイエルチッチ，トミッチ，マグライリャ，ミロセビッチ，プッチ，ナチノビッチ，オフルバン，ブツリヤ，クキッチ，ブライディッチ，トムリアノビッチ。

◆アジア地域極東地区予選（6月27，29日・ソウル）

韓国	33（19—10，14—8）18	日本
韓国	36（16—11，20—13）24	日本

〔日本代表〕監督／本田洋　コーチ／早川清孝，新井田司　選手／・GK高橋克己，比嘉薫　・FP甲斐章義，坂口俊幸，鹿嶌俊秀，野中宏洋，三輪澄高，小池暢男，植木寿憲，田中茂，相馬栄司，松村宏和，源内利之，藤本光次。

第6回世界女子ジュニア選手権

（10月23日～11月1日・デンマーク）

◇予選リーグ・A組

デンマーク	21—20	韓国
デンマーク	14—10	西ドイツ
韓国	28—14	西ドイツ

※アルゼンチンは棄権

・B組

チェコ	16—14	ノルウェー
フランス	20—18	ポーランド
ポーランド	19—17	チェコ
ノルウェー	16—15	フランス
チェコ	17—16	フランス
ノルウェー	18—14	ポーランド

・C組

中国	32（16—7，16—9）16	日本
東ドイツ	25—18	スウェーデン
東ドイツ	33（18—9，15—6）15	日本
中国	19—16	スウェーデン
東ドイツ	20—19	中国
スウェーデン	25（12—12，13—9）21	日本

・D組

ユーゴ	27—15	ナイジェリア
ソ連	35—13	ナイジェリア
ユーゴ	21—18	スペイン
スペイン	17—14	ナイジェリア
ソ連	28—16	ユーゴ
ソ連	23—10	スペイン

◇13～15位決定リーグ

ナイジェリア	26（10—11，16—12）23	日本
ポーランド	30（15—14，15—9）23	日本
ポーランド	30—19	ナイジェリア

〔順位〕⑬ポーランド⑭ナイジェリア⑮日本

◇準決勝リーグ・I組

韓国	25—18	チェコ

ノルウェー	15—13	西ドイツ
フランス	18—17	デンマーク
デンマーク	23—19	チェコ
フランス	15—12	西ドイツ
ノルウェー	21—20	韓国
デンマーク	22—15	ノルウェー
チェコ	23—13	西ドイツ
韓国	25—18	フランス

・Ⅱ組

中国	20—20	ユーゴ
ソ連	23—16	スウェーデン
東ドイツ	21—17	スペイン
東ドイツ	22—18	ユーゴ
スウェーデン	27—14	スペイン
ソ連	34—14	中国
ソ連	17—11	東ドイツ
ユーゴ	17—16	スウェーデン
スペイン	24—21	中国

◇11・12位決定戦

スペイン16（7—10 / 9—5）15西ドイツ

◇9・10位決定戦

フランス22（11—8 / 11—9）17スウェーデン

◇7・8位決定戦

中国20（9—9 / 11—7）16ノルウェー

◇5・6位決定戦

ユーゴ19（10—6 / 9—9）15チェコ

◇3・4位決定戦

東ドイツ27（13—10 / 14—13）23韓国

◇決勝戦

ソ連24（9—8 / 15—7）15デンマーク

〔優勝メンバー・ソ連〕コーチ／ラトナー，バルスコフ　選手／・GKボリセビッチ，シシュキナ，マスローワ　・FPツェマイティテ，ミクルシテ，クジモーワ，ミキュリーナ，エラミノク，ナザレンコ，ガルノソーバ，ベレシャギーナ，ポポーワ，オレクシュク，シェフチェンコ，クラウスカイテ，ボラノーワ，ジカレーワ，ルスナシェンコ，クバソーワ，クラヘツスカーヤ。

〔日本代表〕団長／佐藤和夫　監督／藤原侑　コーチ／梶岡俊介，鈴木孝八郎　選手／・GK梅津直美，三浦葉子，小松崎治子　・FP太田弥生，山之内理代，小池美由紀，貞本三奈子，市来未央，小林江利子，稲田千鶴，川井理恵，森田初美，武津優子，松田史佳，大林恵子，白鳥貴子。

◆アジア地域予選（5月31日，6月2日・東京）

日本29（18—10 / 11—13）23台湾

日本26（11—12 / 15—12）24台湾

〔日本代表〕監督／藤原侑　コーチ／梶岡俊介，鈴木孝八郎　選手／・GK梅津直美，三浦葉子，村山みどり　・FP大林恵子，太田弥生，武津優子，小池美由紀，市来未央，白鳥貴子，貞本三奈子，稲田千鶴，斎藤八千代，篠

原由美，森田初美，小林江利子，川井理恵。

第10回世界学生選手権

（5月30日～6月8日・ルーマニア）

◇予選リーグ・A組

スイス	17—16	ナイジェリア
ルーマニア	27—16	ブルガリア
ルーマニア	36—19	スイス
ブルガリア	30—17	ナイジェリア
ブルガリア	25—15	スイス
ルーマニア	38—19	ナイジェリア

・B組

ポーランド	22—17	モロッコ
ユーゴ	24—17	トルコ
ユーゴ	30—24	モロッコ
ポーランド	24—19	トルコ
トルコ	25—23	モロッコ
ユーゴ	18—16	ポーランド

・C組

ソ連	30（14—6 16—10）16	日本
アメリカ	22—15	イスラエル
日本	22（12—9 10—10）19	アメリカ
ソ連	25—13	イスラエル
ソ連	25—17	アメリカ
イスラエル	19（9—7 10—6）13	日本

・D組

ハンガリー	25—23	韓国
西ドイツ	18—17	オーストリア
ハンガリー	26—17	西ドイツ
韓国	33—25	オーストリア
ハンガリー	20—14	オーストリア
韓国	37—24	西ドイツ

◇下位リーグ・I組

トルコ	25—22	ナイジェリア
モロッコ	17—15	スイス
ナイジェリア	16—12	モロッコ
トルコ	25—21	スイス

・II組

イスラエル	17—17	オーストリア
日本	29（15—10 14—12）22	西ドイツ
イスラエル	24—21	西ドイツ
オーストリア	23（12—7 11—8）15	日本

◇準決勝リーグ・I組

ユーゴ	26—20	ブルガリア
ルーマニア	27—14	ポーランド
ブルガリア	25—21	ポーランド
ルーマニア	20—15	ユーゴ

・II組

ハンガリー	25—24	アメリカ
ソ連	26—24	韓国
韓国	28—22	アメリカ
ソ連	18—14	ハンガリー

◇15・16位決定戦

スイス	24—20	西ドイツ

◇13・14位決定戦

日　本24 (13—15 / 11—8) 23モロッコ

◇11・12位決定戦

オーストリア　19—17　ナイジェリア

◇9・10位決定戦

トルコ　26—24　イスラエル

◇7・8位決定戦

ポーランド22 (9—8 / 8—9 / 延長 / 3—0 / 2—1) 18アメリカ

◇5・6位決定戦

ブルガリア29 (12—12 / 17—16) 28韓国

◇3・4位決定戦

ユーゴ29 (15—14 / 14—11) 25ハンガリー

◇決勝戦

ルーマニア23 (12—9 / 11—10) 19ソ連

〔優勝メンバー・ルーマニア〕監督／ネデフ　コーチ／トロフィン，グネスク　選手／・GKブリガン，ペトラン，ツドール　・FPボイネア，イオネスク，ベルベス，ポルムブ，ドガレスク，チメス，モカヌ，ロスカ，ステファン，ペトレ，ドミトル。

〔日本代表〕団長／中沢重夫　監督／大西武三　コーチ／宍倉保雄　総務／綿貫敏雄　選手／・GK高橋克己（早大），井上博文（久留米工大），比嘉明彦（日体大）・FP斉藤慎太郎，橋本二次夫，長沢純平（以上日体大），山中信昭，加藤英二（以上中京），村田文彦，梅基幸一（以上大体大），斉藤成行，木村信弥（以上国士館），甲斐章義（早大），田中茂（筑波大），楠本繁生（京都教員），山村敏之（本田技研鈴鹿）。

〔個人得点ベスト10〕

①	金載換（韓国）	51
②	オスランド（イスラエル）	47
③	姜在源（韓国）	46
④	ニコロフ（ブルガリア）	42
④	ラッシュ（アメリカ）	42
④	マロシ（ハンガリー）	42
④	ドミトル（ルーマニア）	42
⑤	ドルゴフ（ソ連）	39
⑥	ラウベール（スイス）	36
⑦	サラミ（ナイジェリア）	34
	ウラール（トルコ）	34
⑧	ジョエルフィ（ハンガリー）	30
⑨	甲斐章義（日本）	29
	ノウル（モロッコ）	29
⑩	チーリンスキー（ポーランド）	28

主要海外大会

（1987年度）

◆第4回全アフリカ競技大会（1987年9月・ナイロビ）

▽男子①アルジェリア②エジプト③チュニジア④コンゴ⑤アンゴラ⑥コートジボアール⑦セネガル⑧モロッコ

▽女子①コートジボアール②カメルーン③コンゴ④チュニジア⑤アンゴラ⑥ナイジェリア⑦ガボン⑧モロッコ

◆第10回パン・アメリカン競技大会（1987年8月・インディアナポリス）

▽男子①アメリカ②キューバ③ブラジル④カナダ

▽女子①アメリカ②カナダ③ブラジル④キューバ

（注）ハンドボールは初実施

◆第6回地中海競技大会（1987年10月・ダマスカス）

▽男子①アルジェリア②フランス③スペイン④シリア

▽女子①イタリア②フランス③スペイン

◆第5回スーパーカップ（1987年11月・西ドイツ）＝男子のみ

①西ドイツ②ソ連③東ドイツ④ハンガリー⑤ユーゴ⑥スウェーデン⑦チェコ⑧ルーマニア

◆第5回ワールドカップ（1988年1月・スウェーデン）＝男子のみ

①西ドイツ②東ドイツ③スウェーデン④アイスランド⑤ユーゴ⑥ハンガリー⑦スペイン⑧デンマーク

◆1986～87年度ヨーロッパ・カップ優勝クラブ

▽ヨーロッパ・カップ

- 第31回男子　スカ・ミンスク（ソ連）
- 第27回女子　スパルタク・キエフ（ソ連）

▽カップ・ウィナーズ・カップ

- 12回男子　チェスカ・モスクワ（ソ連）
- 第11回女子　クバン・クラスダール（ソ連）

▽ＩＨＦカップ

- 第6回男子　グラニタス・カウナス（ソ連）
- 第6回女子　ブドクノスト・テイトグラード（ユーゴ）

◆ノルウェー協会創立50周年記念試合（1987年・5月）

世界女子選抜 27（14―13 / 13―10）23 ノルウェー

〔世界女子選抜〕コーチ／ホフマン（西独），ムラッツ（チェコ）

選手／・ＧＫフラスカ（チェコ），

ロベン（オランダ） •ＦＰネマシュカロ，カルローワ，セメノワ（以上ソ連），キティッチ，Ｓ・ムゴーサ（ともにユーゴ），メルダン，イエズ（ともにオーストリア），スジラジ，ギョルジイ（ともにハンガリー），ニールセン（デンマーク），スンダル（ノルウェー），ハルマンソン（スウェーデン），ステルベルグ（西ドイツ）。

日韓交流定期戦

◇第21回高校男子（第６回男子ジュニア）・８月、広島

久留米工大付属（福岡）	24—23	永東高（韓）
永東高	30—15	広島選抜

◇第14回高校女子（第６回女子ジュニア）・８月、広島

貞信女高(韓)	36—16	佼成学園（東京）
貞信女高	28—4	広島選抜

◇第15回女子社会人交流・４月国内各地

草堂薬品(韓)	34—19	立石電機山鹿
草堂薬品	33—18	ソニー国分
草堂薬品	28—18	ジャスコ
草堂薬品	35—27	ブラザー工業
草堂薬品	40—22	北国銀行
草堂薬品	32—19	大和銀行

'87ジャパンカップ

（５月30日〜６月６日・東京ほか）

◇男子

西ドイツ	22	(11—12, 11—8)	20	ユーゴ
ユーゴ	31	(17—7, 14—8)	15	日本
西ドイツ	24	(11—10, 13—7)	17	日本
ユーゴ	25	(13—7, 12—13)	20	日本
ユーゴ	26	(9—5, 17—8)	13	西ドイツ
西ドイツ	22	(12—9, 10—7)	16	日本

〔順位〕①ユーゴ３勝１敗②西ドイツ３勝１敗③日本４敗

〔出場メンバー〕▽ユーゴ・監督／ポクラヤク，コーチ／アルスラナジッチ，選手／•ＧＫプシュニク，バシッチ，•ＦＰ／ルニッチ，ペルコバッチ，サラセビッチ，バビッチ，スマイルジッチ，ムルコニア，ポートナー，ウゼイロビッチ，ツベトコビッチ，プッチ，イサコビッチ，ホルペルト。

▽西ドイツ•監督／イバネスク，選手／•ＧＫケルナー，ヘッカー，ベッ

カー，・ＦＰネイツェル，フウット，Ｆ・レール，クレム，クァルティー，レーネルツ，フイック，ハーツ，フラッツ，バウエルト，Ｊ・レール，ツァーベ。

▽日本　監督／野田清，コーチ／津川昭，佐藤要二，塙敏，選手／・ＧＫ井藤英忠，上村幸彦，矢内浩，橋本行弘，・ＦＰ西山清，山本興道，玉村健次，荷川取義浩，首藤信一，酒巻清治，高村誠一，立木浩二，田口隆，宮下和広，奥田新治，朝生和光，藤井泉。

〔ベストセブン〕

・ＧＫ　ヘッカー（西ドイツ）
・ＦＰ　イサコビッチ（ユーゴ）
ツベトコビッチ（ユーゴ）
ムルコニア（ユーゴ）
フラッツ（西ドイツ）
フイック（西ドイツ）
宮下和広（日本）

〔個人得点ベスト10〕

①フラッツ（西ドイツ）	26
②イサコビッチ（ユーゴ）	24
③ツベトコビッチ（ユーゴ）	20
④ムルコニア（ユーゴ）	19
⑤ネイツェル（西ドイツ）	16
⑥フイック（西ドイツ）	13
⑦ルニッチ（ユーゴ）	12
⑦首藤信一（日本）	12
⑨宮下和広（日本）	11
⑨山本興道（日本）	11

◇女子

ソ連	35	18—7 17—5	12	日本
韓国	31	16—14 15—8	22	アメリカ
日本	19	12—5 7—11	16	アメリカ
ソ連	31	14—15 17—14	29	韓国
ソ連	30	16—11 14—7	18	アメリカ
韓国	32	15—15 17—12	27	日本

〔順位〕①ソ連３戦全勝②韓国２勝１敗③日本１勝２敗④アメリカ３敗

〔出場メンバー〕▽ソ連コーチ／ルチェンコ　選手／・ＧＫミトリウク，マリュコ，シャリモワ，・ＦＰカルローワ，ツェマイティテ，ツルチーナ，ビドリーナ，オレクシュク，セメノーワ，バサノーワ，ゴルブ，トウストガン，ネマシュカロ，ミチュリーナ，マニコーワ，グセーワ，チガンコーワ。

▽韓国　監督／高内勲　コーチ／朴載秀　選手／・ＧＫ宋芝賢，孫美娜，・ＦＰ金銀愛，尹秀郷，尹寅銑，金好蓮，金春礼，金名順，李基順，趙化善，金賢美，任美環，奇美淑，金京純，石旼熹，成京花。

▽日本　監督／井薫　コーチ／樫塚正一，水上一　選手／・ＧＫ葛生豊子，小深田由紀子，村山みどり　・ＦＰ武藤夕起子，岩村英子，野嶋ちえみ，近藤育子，荒木一美，前田重子，山岸和

子，根本幸枝，久保田美香，丸田紀子，磯山弘美，林智恵，比嘉晴美，鈴木美幸。

▽アメリカ　監督／ファルディ　コーチ／クラントン　選手／・ＧＫ　コーラハン，クロウ，コーネン　・ＦＰレイナー，ギャムブル，ゴールアグハー，ウィン，コントスラック，Ｄ・Ｌ・リーバ，クラーク，ヤング，スティンガー，ラッタナー，ジョーンズ，ペテルカ，バルグト。

〔ベストセブン〕

・ＧＫ　尹秀郷（韓国）
・ＦＰ　オレクシュク（ソ連）
　ツルチーナ（ソ連）
　ネマシュカロ（ソ連）
　金賢美（韓国）
　前田重子（日本）
　ウィン（アメリカ）

〔個人得点ベスト10〕

①金賢美（韓国）	34
②ジョーンズ（アメリカ）	18
③奇美淑（韓国）	17
オレクシュク（ソ連）	17
④前田重子（日本）	15
セメノーワ（ソ連）	15
⑦成京花（韓国）	14
⑧ネマシュカロ（ソ連）	13
⑨トウストガン（ソ連）	12
野嶋ちえみ（日本）	12

主要国際試合

（1986年12月～1988年３月）

藤村女高（東京）―昌文女高（韓国）交歓定期戦
（1986年12月、東京）

昌文女高	25―12	藤村女高
昌文女高	24―10	藤村女高

▽交流試合（５高校リーグ）

昌文女高	20―7	藤村女高
昌文女高	14―14	佼成女子
昌文女高	19―5	聖和学院
昌文女高	21―7	群馬女短大附

▽全日本総合決勝前座試合

昌文女高	25―10	東京少年選抜

▽石川県交流

昌文女高	20―18	小松商高

第４回日中青少年スポーツ交流
（1986年12月、中国）

▶男子（拓大一高～東京～遠征）

拓大一高	17―16	海淀区業余
北京青年選抜	26―15	拓大一高
拓大一高	24―14	北京体育学院Ｂ
北京市第二中	23―21	拓大一高
天津市第一中	24―18	拓大一高
天津市青年選抜	22―17	拓大一高

▶女子（昭和学院～千葉～、名古屋短大附～愛知、四天王寺高～大阪～遠征）

名短大附	15―12	北京青少年選抜

四天王寺高	28—3	宜武体育校
昭和学院高	23—17	北京市第二隊
名短大附	20—6	宜武体育校
北京青少年選抜	19—13	四天王寺高
昭和学院高	19—10	北京市第二隊
名短大附	20—7	北京青少年選抜
四天王寺高	17—9	第百四十中学
昭和学院高	20—7	宜武体育校
名短大附	13—13	北京青少年選抜
四天王寺高	10—9	宜武体育校
昭和学院高	15—7	第百四十中学
天津青少年第一	20—6	昭和学院高
名短大附	23—13	天津教員
天津青少年第二	15—13	四天王寺高
天津青少年第二	19—18	昭和学院高
天津青少年第一	22—13	四天王寺高
名短大附	21—16	天津第二女高

第3回兵庫選抜ジュニア男女・台湾遠征（1986年12月）

▶男子

兵庫選抜	25—21	西湖商工校
台北体専	24—19	兵庫選抜
高雄商職	24—22	兵庫選抜
台中体専	30—26	兵庫選抜
致用商工	36—25	兵庫選抜

▶女子

稲江職校	12—10	兵庫選抜
台北体専	15—10	兵庫選抜
高雄商職	24—14	兵庫選抜
台中体専	21—12	兵庫選抜
口湖国民中学	22—7	兵庫選抜

大邱市庁（韓国女子）来日（1987年1月）

大邱市庁	26—18	日立栃木
大邱市庁	38—10	ジャスコ
大邱市庁	41—15	大和銀行
大邱市庁	27—23	ブラザー工業
大邱市庁	38—26	シャトレーゼ

全日本男子ジュニア韓国強化遠征（1987年1月）

韓国ジュニア	31（18—11 13—11）22	全日本ジュニア
永東高	29—23	全日本ジュニア
済州大	37—25	全日本ジュニア
韓国ジュニア	34（13—14 21—13）27	全日本ジュニア
済州大	30—19	全日本ジュニア

〔遠征メンバー〕監督／本田洋　コーチ／早川清孝

選手／高木俊明，井上博文，大村耕一，山下裕史，伊勢坊和弘，田中英規，源内利之，井上朋広，田中正道，坂口俊幸，松尾和明，相馬英司，植木寿憲，小池暢男，三輪澄高，藤本光次，加治稔典。

全日本学生（男子）ルーマニア遠征（1986年2月）

全日本学生	24—23	コンストラクト
コンストラクト	25—24	全日本学生
コンストラクト	24—21	全日本学生

全日本学生	25—20	リ　　　ク
全日本学生	23—9	ムレシュ
M・B・メア	32—17	全日本学生
M・B・メア	28—21	全日本学生

〔遠征メンバー〕団長／中沢重夫　監督／大西武三　コーチ／宍倉保雄　選手／楠本繁生，山村敏之，村田文彦，梅基幸一（以上大阪体大），比嘉薫，斉藤慎太郎，長沢純平（以上日体大），永松義浩，田中茂（以上筑波大），山中昭信，加藤英二（以上中京），斉藤成行，木村信弥（以上国士館），高橋克己，甲斐章義（以上早稲田），井上博文（久留米工大）。

第10回関東学生ヨーロッパ遠征
（1987年2月）～男子のみ～

▷西ドイツ

フランクフルト・ニード	25—22	関東学生
アイントラハト・ベインゲル	25—22	関東学生
関東学生	25—25	ヴァウナタールHC
デュテンホッフェン	35—17	関東学生
関東学生	28—25	ケルスタバッハ

▷スイス

関東学生	25—21	TV・ズアール
エメンストランド	21—15	関東学生

東女体大・韓国強化遠征
（1987年3月）

韓国造船公社	32—24	東女体大
韓国造幣公社	17—15	東女体大
東女体大	26—17	東邦女高
韓国造幣公社	20—17	東女体大
韓国体大	38—32	東女体大
東女体大	38—37	昌文女高
議政府女高	34—24	東女体大
徽慶女高	25—22	東女体大
昌文女高	33—25	東女体大
東女体大	17—11	昌文女高
東女体大	29—29	昌文女高
韓国ジュニア	44—24	東女体大
昌文女高	27—24	東女体大
昌文女高	36—35	東女体大

順天堂大・韓国遠征
（1987年3月）

尚武(韓国軍隊)	39—23	順天堂大
尚　　武	36—14	順天堂大
永東高	34—28	順天堂大
永東高	29—22	順天堂大
成均館大	32—23	順天堂大
永東高	26—21	順天堂大

藤村女高（東京）・韓国遠征
（1987年3月）

昌文女高	32—22	藤村女高
東一女高	27—18	藤村女高

全日本男子・韓国遠征
（1987年3月）

全日本	29—22	尚　　武
全日本	32—18	韓国体育大

全　日　本 23―23 尚　　武
全　日　本 28―20 韓国ジュニア
(注)このほかに韓国代表と公式国際試合2試合。
〔遠征メンバー〕コーチ／津川昭，佐藤要二，塙敏
選手／井藤英忠，矢内浩，上村幸彦，西山清，玉村健次，荷川取義浩，山村敏之，酒巻清治，高村誠一，立木浩二，田口隆，宮下和広，奥田新治，藤井泉。

第5回ホンコン男子国際
(1987年3月)

全日本	23―15		慶熙大(韓国)
全日本	38	(19―2 / 19―2)	4 ホンコン
全日本	29―11		北京選抜(中国)

(注)この大会で、全日本は優勝。
〔遠征メンバー〕団長／川上正幸　コーチ／津川昭，佐藤要二，塙敏　選手／井藤英忠，上村幸彦，矢内浩，橋本行弘，西山清，玉村健次，荷川取義浩，首藤信一，酒巻清治，高村誠一，立木浩二，田口隆，宮下和広，奥田新治，藤井泉，山村敏之。

本田技研鈴鹿（三重男子）
韓国遠征
(1987年4月)

尚　　武 25―24 本田技研鈴鹿
尚　　武 29―27 本田技研鈴鹿
本田技研鈴鹿 28―22 成均館大
本田技研鈴鹿 25―24 尚　　武

大和銀行（大阪・女子）
韓国遠征
(1987年4月)

議政府高 23―15 大和銀行
韓国体育大 37―24 大和銀行
大和銀行 24―24 昌文女高
韓国造幣公社 29―23 大和銀行
大和銀行 21―14 微慶女高
大　田　中 19―18 大和銀行
大和銀行 19―16 東一女高

第6回中正杯（台湾）
国際トーナメント
(1987年4月、台北)

▶**男子**

スウェーデン・ユース	27	(15―8 / 12―7)	15	全日本ジュニア
韓国ジュニア	33	(14―12 / 19―14)	26	全日本ジュニア
台湾ジュニア	32	(11―11 / 21―11)	22	全日本ジュニア
オランダ・ユース	20	(11―8 / 9―11)	19	全日本ジュニア
全日本ジュニア	31	(16―3 / 15―4)	7	ホンコンジュニア

(注)日本は5位

▶**女子**

全日本ジュニア	19	(13―8 / 6―8)	16	西ドイツ・ユーゲント

デンマーク・ユース	19 (9—10 / 10—8) 18	全日本ジュニア
韓国ジュニア	42 (21—10 / 21—8) 18	全日本ジュニア
全日本ジュニア	24 (12—11 / 12—12) 23	台湾ジュニア

(注)日本は3位

〔遠征メンバー〕団長／清水正，男子監督／早川清孝　男子選手／多田恵久，高木俊明，鹿嶌俊秀，坂口俊幸，松尾和明，大和田和利，大野達哉，小池暢男，松村宏和，田中幸介，田中英視，植木寿憲，相馬栄司。

女子監督／藤原侑　女子コーチ／井手和洋，梶岡俊介　女子選手／梅津直美，三浦葉子，村山みどり，大林恵子，武津優子，中山美和子，小池美由紀，新田千里，市来未央，白鳥貴子，貞本三奈子，稲田知鶴，斎藤八千代，山之内理代，篠原由美。

全日本女子・アメリカ西海岸遠征（1987年5月）

アメリカ	17—15	全日本女子
全日本女子	13—13	西ドイツ

〔遠征メンバー〕監督／井薫　コーチ／樫塚正一，水上一　選手／葛生豊子，小深田由紀子，村山みどり，武藤夕起子，野嶋ちえみ，近藤育子，前田重子，山岸和子，根本幸枝，久保田美香，丸田紀子，磯山弘美，林智恵，比嘉晴美，岩村英子。

女子国際親善試合（1987年6月）

ソ連	34—20	日本ビクター
アメリカ	25—21	シャトレーゼ

世界学生選手権参加時の転戦（1987年6月・ルーマニア）

オラデア	24—21	全日本学生
全日本学生	24—24	メカニカ
全日本学生	30—24	テイミソアラ工科大
全日本学生	37—24	メコン・イアシ
全日本学生	28—22	メコン・イアシ

インフォシステマ・メドベスチャック・ザグレブ（ユーゴ男子）来日（1987年7月）

全日本	26—17	ザグレブ
ザグレブ	27—25	湧永製薬
全日本	20—18	ザグレブ
ザグレブ	22—19	全日本
大崎電気	32—26	ザグレブ

全日本女子ジュニア・第15回インテラムニアカップ参加（1987年7月）

全日本ジュニア	27 (12—8 / 15—9) 17	スイス・ジュニア
全日本ジュニア	35 (21—5 / 14—7) 12	シリア・ジュニア
ソ連ジュニア	50 (25—9 / 25—14) 23	全日本ジュニア

全日本ジュニア	23	(10—9 / 13—9) 18	台湾ジュニア
全日本ジュニア	24	(11—6 / 13—8) 14	ノルウェージュニア

(注)この大会で日本は2位。

▶ホンジ・ハンドボールフェスタ（イタリア）参加

全日本ジュニア	21—9	ポーランドユース
韓国ジュニア	28—22	全日本ジュニア
チェコ・ユース	15—14	全日本ジュニア
全日本ジュニア	20—12	カナダジュニア
ソ連ジュニア	28—12	全日本ジュニア

〔遠征メンバー〕監督／藤原侑　コーチ／梶岡俊介，鈴木孝八郎　選手／梅津直美，三浦葉子，川島ゆう子，大林恵子，橋本奈美子，小池美由紀，市来未央，貞本三奈子，稲田知鶴，斎藤八千代，山之内理代，森田初美，山岸理津子，松田史佳，川井理恵，小林江利子。

江蘇省女子（中国）来日
(1987年7月)

茨城少年選抜	14—12	江蘇省
江蘇省	21—14	水海道二高
日本ビクター	28—13	江蘇省

貞信女高（韓国）来日
(1987年7月)

▶第4回名短大附高（愛知）—貞信女高定期戦

貞信女高	20—13	名短大附高
貞信女高	28—18	名短大附高
貞信女高	29—14	名短大附高
貞信女高	32—15	愛知高校選抜

第3回中部大（愛知）
円光大（韓国・男子）定期戦
(1987年8月、韓国)

円光大	37—19	中部大
円光大	39—21	中部大

韓国女子体育大来日
(1987年8月)

韓国体大	32—20	北国銀行
韓国体大	28—25	ブラザー工業
韓国体大	28—24	東女体大
韓国体大	33—20	シャトレーゼ

埼玉県少年女子選抜
中国遠征（1987年8月）

山西省鋼鉄公司	27—19	埼玉選抜
山西省鋼鉄公司	27—24	埼玉選抜

第3回函館市—上海市（中国）交流・函館大男子中国遠征（1987年9月）

上海選抜	31—25	函館大
函館大	43—16	上海都市建設学院

藤村女高（東京）—昌文女高(韓国)交歓定期戦
(1987年12月、東京)

昌文女高	23—18	藤村女高
昌文女高	23—14	藤村女高

▽交流試合

昭和学院	22—20	昌文女高
昌文女高	27—17	藤村女高
昌文女高	20—10	聖和学園
昌文女高	24—16	名短大附高

大崎電気男子(埼玉)・韓国遠征(1987年12月)

尚武	32—23	大崎電気
大崎電気	31—25	韓国体大
大崎電気	32—31	成均館大

第5回日中青少年スポーツ交流～7高校遠征～(1987年12月、中国)

▶男子・上田高(長野)

北京青少年選抜	41—20	上田高
上田高	18—18	北京第十九中
北京第十九中	26—16	上田高
理工学院	24—19	上田高
南開区選抜	18—15	上田高

・那賀高(和歌山)

北京青少年選抜	27—23	那賀高
北京青少年選抜	30—14	那賀高
那賀高	25—18	北京第十九中
那賀高	23—11	天津四一中
那賀高	18—17	漢湖手球隊

・寝屋川高(大阪)

北京第百四十中	16—10	寝屋川高
北京青少年第二隊	17—6	寝屋川高
宜武体育校	19—15	寝屋川高
天津軍隊少年	15—12	寝屋川高
寝屋川高	10—10	漢湖手球隊

▶女子・夙川学院高(兵庫)

宜武体育校	17—11	夙川学院
北京女子少年選抜	36—17	夙川学院
第百四十中学	15—9	夙川学院
夙川学院	19—11	漢湖手球隊
夙川学院	19—10	南開区選抜

・大谷高(大阪)

女子青年第一隊	35—26	大谷高
大谷高	16—11	宜武体育校
女子青年第二隊	28—8	大谷高
大谷高	16—7	南開区選抜
天津少年連合	14—12	大谷高

・佼成女高(東京)

女子青年第二隊	20—11	佼成女高
女子第百二十中学	11—10	佼成女高
北京少年選抜	35—14	佼成女高
天津青年選抜	17—11	佼成女高
佼成女高	21—13	第四十一中学

・群馬女短大附属高

女子青年第一隊	72—28	群女短附高
百四十中学	21—17	群女短附高
女子青年第二隊	30—10	群女短附高
群女短附高	31—28	天津四十一中
天津青年選抜	31—16	群女短附高

第3回福岡市学生選抜男女中国遠征(1987年12月)

▶男子

清華大	28—24	福岡学生選抜
広州市選抜	32—20	福岡学生選抜

▶女子

福岡学生選抜	30—22	清華大
広東省選抜	26—24	福岡学生選抜

▷ホンコン転戦

福岡学生男子	38—30	ホンコンジュニア
福岡学生女子	32—12	ホンコンジュニア

大邱市庁（韓国女子）来日

（1988年1月）

大邱市庁	27—22	ジャスコ
大邱市庁	31—21	日体大
大邱市庁	27—17	東女体大
大邱市庁	30—19	日本ビクター
シャトレーゼ	21—20	大邱市庁
大邱市庁	36—25	北国銀行
大邱市庁	30—19	北国銀行
大邱市庁	28—23	立石電機山鹿
立石電機山鹿	26—26	大邱市庁
大邱市庁	25—18	立石電機山鹿
大邱市庁	20—19	大和銀行
大邱市庁	27—26	大和銀行

東京体大・韓国遠征

（1988年1月）

韓国体大	31—20	東女体大
韓国体大	21—17	東女体大
韓国体大	25—20	東女体大
東女体大	39—38	昌文女高

成均館大（韓国男子）来日

（1988年2月）

成均館大	27—18	大阪体大
成均館大	27—19	京都選抜
成均館大	23—22	大同特殊鋼
本田技研鈴鹿	31—29	成均館大
成均館大	24—21	大同特殊鋼

▽第3回日体大—成均館大定期戦

成均館大	31—16	日体大

第6回関西学生男女

選抜西ドイツ遠征

（1988年2月）

▽男子

ノルダー・シュテット	26—20	関西学生
エラー・ベックSC	22—18	関西学生
VfL・バド・シュバルタウ	30—20	関西学生
バール・ウナ	21—16	関西学生
関西学生	23—22	オエス・ベルクレー
OSC・ラインハウゼン	29—23	関西学生

▽女子

関西学生	24—17	ノルダー・シュタット
エラー・ベック	22—18	関西学生
関西学生	21—19	VfL・バド・シュバルタウ
関西学生	22—21	オエス・ベルクレー
関西学生	22—17	ST・テニス
関西学生	22—21	バール・ウナ

第5回大阪高校選抜

西ドイツ遠征

（1988年3月）

〈男子〉

スタインバッハ	34—28	大阪選抜
大阪選抜	20—19	ミルハイム選抜
大阪選抜	27—24	HSGブェルム

大阪選抜	25—24	オーバーファルツ
G-W-Dミンデン ダンカーゼン	40—31	大阪選抜
大阪選抜	41—19	TVペータース ハゲン
大阪選抜	31—24	TUSジェー トヘマーン
大阪選抜	30—25	エッセン

〈女子〉

スタインバッハ	26—8	大阪選抜
ミルハイム選抜	13—10	大阪選抜
ヒョードルリー ネンキナジウム	21—14	大阪選抜
オーバー ファルンツ	17—14	大阪選抜
大阪選抜	23—19	TVシュテマー
大阪選抜	20—20	TVペーター スハーゲン
大阪選抜	21—15	TOSジュー トヘーマン
大阪選抜	30—16	ASCローペ・ベル クノイシュタット混成

藤村女高（東京）韓国遠征（1988年3月）

昌文女高	19—17	藤村女高
新葛女高	22—21	藤村女高

鈴蘭台高（兵庫，女子）韓国遠征（1988年3月）

大鮮酒造	32—7	鈴蘭台高
影島女子中	28—21	鈴蘭台高
釜山鎮女商	32—11	鈴蘭台高
東一女高	28—12	鈴蘭台高
東一女高	31—11	鈴蘭台高

【当欄の記録は「日本協会単独国際交流規程」に基いて報告されたものを主体にしています。タイトルのみで試合記録が記載されていないのは，結果未報告または試合ナシによるものです】

全日本男子
公式国際試合
（1987年１月～1988年３月）

○内数字は公式第１戦からの通算試合順序

㉑1987年２月17日（ボゼン）＝第６回世界選手権Ｂグループ

ノルウェー24（9—11 / 15—11）22日　本

ＧＫ／井藤，矢内　ＦＰ／西山５，玉村８，楢原０，高村３，酒巻０，立木３，宮下０，奥田１，市川０，田口隆２。

㉑87年２月18日（ボゼン）＝第６回世界Ｂ

ソ　連31（14—7 / 17—7）14日　本

ＧＫ／上村，矢内　ＦＰ／西山３，内藤０，楢原０，高村０，酒巻５，立木１，宮下４，奥田１，市川０，田口隆０。

㉑87年２月20日（ボゼン）＝第６回世界Ｂ

フランス24（10—9 / 14—13）22日　本

ＧＫ／井藤，矢内　ＦＰ／西山４，高村０，立木５，宮下４，奥田１，田口隆，首藤１，酒巻７，楢原０，市川０。

㉑87年２月22日（ロベルト）＝第６回世界Ｂ

日　本23（8—6 / 15—10）16ブラジル

ＧＫ／井藤，上村　ＦＰ／西山６，高村４，立木１，宮下２，奥田２，田口隆０，首藤３，酒巻５，楢原０，藤井０。

㉑87年２月24日（ブリッセン）＝第６回世界Ｂ

チュニジア25（8—15 / 17—7）22日　本

ＧＫ／井藤，上村　ＦＰ／西山９，高村２，立木２，宮下３，奥田０，田口隆１，首藤２，酒巻１，市川１，藤井１。

㉑87年２月26日（メーラン）＝第６回世界Ｂ

フィンランド33（15—12 / 18—15）27日　本

ＧＫ／井藤，矢内　ＦＰ／西山４，高村２，立木４，宮下３，奥田２，田口隆１，玉村10，酒巻１，市川０，内藤０。

㉑87年３月22日（ソウル）

韓　国32（13—10 / 19—11）21日　本

ＧＫ／井藤，矢内　ＦＰ／西山０，高村４，立木０，宮下６，奥田３，田口隆０，玉村８，酒巻０，山村０，荷川取０。

㉑87年３月28日（ソウル）

日　本28（13—13 / 15—8）21韓　国

ＧＫ／井藤，矢内　ＦＰ／西山８，高村０，立木２，宮下２，奥田３，田口隆１，玉村５，酒巻０，藤井７，荷川取０。

㉑⑨87年４月18日（ホンコン）＝第５回ホンコン国際
日　　本29 $\left(\begin{matrix}19-2\\10-2\end{matrix}\right)$ 4ホンコン
ＧＫ／井藤，矢内　ＦＰ／西山２，高村５，立木１，宮下２，奥田５，田口隆０，玉村８，山村１，藤井１，首藤５。
(注)ホンコン国際では日本は優勝したが、ホンコン戦以外の外国チームは、すべて単独チーム。

㉒⓪87年５月31日(代々木)＝第３回ジャパンカップ
ユ　ー　ゴ31 $\left(\begin{matrix}17-7\\14-8\end{matrix}\right)$ 25日　　本
ＧＫ／井藤，矢内，上村　ＦＰ／西山３，玉村１，高村３，立木０，田口隆４，首藤１，酒巻２，宮下０，山本興１，荷川取０，奥田０，朝生０。

㉒①87年６月２日(代々木)＝第３回ジャパンカップ
西ドイツ24 $\left(\begin{matrix}11-10\\13-7\end{matrix}\right)$ 17日　　本
ＧＫ／井藤，上村，矢内　ＦＰ／西山０，玉村０，高村０，立木１，田口隆０，首藤４，酒巻０，宮下４，山本興６，荷川取０，奥田２，藤井０。

㉒②87年６月３日（横浜）＝第３回ジャパンカップ
ユ　ー　ゴ25 $\left(\begin{matrix}13-7\\12-13\end{matrix}\right)$ 20日　　本
ＧＫ／井藤，矢内　ＦＰ／西山０，玉村１，高村０，立木０，田口隆６，首藤４，朝生１，宮下０，山本興２，奥田３，藤井３

㉒③87年６月６日(名古屋)＝第３回ジャパンカップ
西ドイツ22 $\left(\begin{matrix}12-9\\10-7\end{matrix}\right)$ 16日　　本
ＧＫ／井藤，矢内，上村　ＦＰ／西山７，玉村２，高村１，立木０，田口隆１，首藤３，朝生０，宮下０，山本興２，奥田０，藤井０。

㉒④87年８月６日（ソウル）＝韓国国際
アイスランド22 $\left(\begin{matrix}11-7\\11-14\end{matrix}\right)$ 21日　　本
ＧＫ／井藤，矢内　ＦＰ／西山７，玉村０，高村０，立木３，田口隆０，首藤２，藤井０，宮下１，山本興４，奥田４。

㉒⑤87年８月８日（ソウル）＝韓国国際
スウェーデン27 $\left(\begin{matrix}12-9\\15-11\end{matrix}\right)$ 20日　　本
ＧＫ／矢内，橋本　ＦＰ／西山５，玉村１，高村１，立木１，田口隆６，首藤１，朝生１，宮下３，山本興１，奥田０。
（注）高村は公式国際戦出場50回（通算21人目）

㉒⑥87年８月９日（ソウル）＝韓国国際

韓　　国35（19—13 / 16—10）23日　　本
GK／井藤，橋本　FP／西山3，玉村11，高村0，立木2，田口隆2，首藤1，酒巻0，宮下2，山本興1，奥田1。

㉗87年8月21日（アンマン）＝第4回アジア選手権
日　　本27（12—6 / 15—6）12中　　国
GK／井藤，矢内　FP／西山7，玉村6，高村0，立木2，宮下5，田口隆1，首藤2，奥田2，藤井1，山本興1。

㉘87年8月22日（アンマン）＝第4回アジア
日　　本24（14—9 / 10—9）18シ リ ア
GK／井藤，矢内　FP／西山8，玉村5，高村0，立木2，宮下2，田口隆1，首藤6，奥田0，朝生0，山本興0。

㉙87年8月23日（アンマン）＝第4回アジア
日　　本33（16—4 / 17—9）13パレスチナ
GK／井藤，矢内　FP／西山11，玉村5，高村0，立木1，宮下4，田口隆1，首藤2，奥田1，藤井4，酒巻4

㉚87年8年25日（アンマン）＝第4回アジア
日　　本35（12—9 / 23—3）12カタール
GK／井藤，矢内　FP／西山5，玉村9，高村3，立木2，宮下0，田口隆2，首藤2，奥田6，藤井4，山本興2。

㉛87年8月27日（アンマン）＝第4回アジア
韓　　国28（11—12 / 17—12）24日　　本
GK／矢内1（史上6回目のGK得点），橋本0　FP／西山6，玉村5，高村0，立木3，宮下0，田口隆2，首藤4，奥田0，藤井1，山本興2。

㉜87年8月29日（アンマン）＝第4回アジア
日　　本25（12—12 / 13—11）23クウェート
GK／井藤，矢内　FP／西山4，玉村9，高村0，立木4，宮下2，田口隆1，首藤4，奥田1，藤井0，山本興0。

【通算成績232戦102勝10分120敗】

全日本女子 公式国際試合

(1987年1月～1988年3月)

⑩1987年5月6日（コロラド）＝アメリカン・カップ
日　　本22（14—9 / 8—13）22西ドイツ
GK／葛生，小深田　FP／前田2，野嶋3，武藤2，根本2，近藤育0，

山岸6，磯山0，林0，丸田2，久保田1，岩村0，比嘉1。

⑪87年5月7日（コロラド）＝アメリカン・カップ
アメリカ27（15—10 / 12—12）22日本
GK／葛生，小深田，村山　FP／前田2，野嶋3，武藤0，根本1，近藤育1，山岸9，磯山1，林1，丸田0，久保田1，比嘉3。

⑫87年5月9日（コロラド）＝アメリカン・カップ
デンマーク25（12—6 / 13—12）18日本
GK／葛生，小深田，村山　FP／前田0，野嶋2，武藤0，根本0，近藤育2，山岸7，磯山1，林3，丸田0，久保田0，比嘉3。

⑬87年5月10日（コロラド）＝アメリカン・カップ3位決定戦
デンマーク29（10—12 / 19—10）22日本
GK／葛生，小深田　FP／前田1，野嶋4，武藤3，根本1，近藤育1，山岸2，磯山0，林5，丸田0，久保田0，比嘉5。

⑭87年5月30日(代々木)＝第2回ジャパンカップ
ソ連35（18—7 / 17—5）12日本
GK／葛生，小深田　FP／前田1，野嶋3，武藤1，根本0，近藤0，山岸3，磯山1，林0，久保田0，丸田0，井沢0，比嘉3，鈴木美0。

⑮87年5月31日(代々木)＝第2回ジャパンカップ
日本19（12—5 / 7—11）16アメリカ
GK／葛生，小深田，村山　FP／前田7，武藤1，野嶋2，山岸2，井沢3，近藤3，丸田1，林0，磯山0，鈴木0，根本0，久保田0。

⑯87年6月2日(代々木)＝第2回ジャパンカップ
韓国32（15—15 / 17—12）27日本
GK／葛生，小深田，村山　FP／前田7，武藤0，野嶋7，山岸3，井沢4，近藤1，丸田0，林0，磯山5，鈴木0，根本0，久保田0。

⑰87年8月20日（アンマン）＝第1回アジア選手権
韓国32（17—7 / 15—9）16日本
GK／葛生，小深田　FP／前田5，武藤0，野嶋3，山岸1，岩村0，近藤1，丸田3，比嘉1，磯山1，中嶋1。

⑱87年8月23日（アンマン）＝第1回アジア
日本35（15—8 / 20—12）20台湾
GK／葛生，村山　FP／前田9，林1，野嶋5，山岸5，小池0，井沢4，丸田8，比嘉2，磯山0，中嶋1。

⑲87年8月25日（アンマン）＝第1回アジア選手権

中　　国34（12—11／12—13／2—2／4—4／2—0／2—1）31日　　本

GK／葛生，小深田　FP／前田9，武藤2，野嶋11，山岸1，小池0，井沢0，丸田0，比嘉3，近藤育2，岩村3

⑳87年8月26日（アンマン）＝第1回アジア

日　　本23（13—4／10—5）9シ　リ　ア

GK／小深田，村山　FP／前田0，武藤7，野嶋2，山岸3，小池0，井沢0，丸田3，林3，磯山1，中嶋4。

【通算120戦39勝5分76敗】

全日本女子ジュニア及び全日本学生世界選手権記録

◆第6回世界女子ジュニア（1987年10月・デンマーク）

中　　国32（16—7／16—9）16日　　本

GK／梅津，三浦　FP／大林2，太田0，武津3，市来6，小池1，白鳥1，貞本1，山之内0，小林2，川井0。

東ドイツ33（18—9／15—6）15日　　本

GK／梅津，小松崎　FP／篠原2，大林1，小林0，太田0，武津1，市来5，小池1，白鳥5，貞本0，山之内0。

スウェーデン25（12—12／13—9）21日　　本

GK／三浦，梅津　FP／大林3，川井0，太田0，小林0，武津1，市来10，小池4，白鳥1，貞本2，山之内0。

ナイジェリア26（10—11／16—12）23日　　本

GK／小松崎，三浦　FP／武津3，市来8，小池3，白鳥2，貞本0，山之内0，森田3，小林0，川井0，篠原4。

ポーランド30（15—14／15—9）23日　　本

GK／梅津，三浦　FP／川井0，小林2，大林1，太田0，武津2，市来9，小池0，白鳥7，貞本2，山之内0。

◆第10回世界学生選手権（1987年6月・ルーマニア）

ソ　　連30（14—6／16—10）16日　　本

GK／井上，比嘉　FP／楠本3，山村1，斉藤成0，木村2，斉藤慎1，長沢0，山中0，加藤1，甲斐3，田中5。

日　　本22（12―9 / 10―10）19アメリカ

GK／高橋，比嘉　FP／山村5，木村1，楠本5，田中0，梅基0，村田0，甲斐5，長沢0，橋本6，斉藤慎0。

イスラエル19（9―7 / 10―6）13日　　本

GK／高橋，比嘉　FP／楠本2，山村0，木村3，斉藤慎1，橋本0，長沢0，甲斐6，村田1，梅基0，田中0。

日　　本29（15―10 / 14―12）22西ドイツ

GK／高橋，井上　FP／田中2，楠本6，甲斐4，山村6，斉藤成0，木村3，斉藤慎2，橋本6，長沢0，山中0。

オーストリア23（12―7 / 11―8）15日　　本

GK／高橋，比嘉　FP／山村5，斉藤成0，斉藤慎1，楠本1，木村0，橋本0，長沢0，加藤2，甲斐5，田中1。

日　　本24（13―15 / 11―8）23モロッコ

GK／井上，高橋　FP／甲斐6，田中2，楠本6，山村2，木村0，斉藤慎0，橋本8，山中0，村田0，梅基0。

◇男子ナショナルプレイヤー公式国際試合出場回数ベスト・30

～1988年3月末現在～

①蒲生　晴明	132
②池ノ上孝司	91
③志賀　良弘	87
③井藤　英忠（GK）	87
⑤西山　　清	85
⑥中本　満明	80
⑦中井　武三	74
⑧山本　伸二	73
⑨木野　　実	71
⑩穂積　豊彦	70
⑪斉藤　幸司	68
⑫津川　　昭	67
⑬大畑　孝広（GK）	64
⑬本田　　洋（GK）	64
⑮佐藤　要二	57
⑮藤中　憲二	57
⑮高村　誠一	57
⑮斉藤将一郎	57
⑲福井　秀人（GK）	56
⑲関　　健三	56
㉑花輪　　博	54
㉒生駒　靖夫	48
㉓柳川　　実	46
㉔飯田　誠行	43
㉕近森　克彦	39
㉖立木　浩二	37
㉖柴田　正章（GK）	37
㉘田口　　隆	36
㉘奥田　新治	36
㉚大原　真造	34
㉚宮下　和広	34

◇女子ナショナルプレイヤー公式国際試合出場回数ベスト・20

～1988年３月末現在～

①古佐原ひろ子	40
①島田　夏枝	40
③前田　重子	37
④野嶋ちえみ	36
⑤紀野奈々美	34
⑥岩村　英子	33
⑦山下恵美子	32
⑦蔵田　照美	32
⑦松下　仁美	32
⑩和田　祥子（GK）	31
⑪山岸　和子	30
⑫矢部登茂子（GK）	29
⑬葛生　豊子（GK）	28
⑬河田　栄子	28
⑮加藤美起子	27
⑮井村文光子（GK）	27
⑰穂積美保子	25
⑱西　　典子（故人）	23
⑱薮田　典子	23
⑳武藤夕起子	22

〔編集後記〕

その年度の動き、事業、記録を集大成して保存することは、競技団体の大きな使命の一つである。

日本協会も、その重要さを知りつつ、主に競技面の事業に追われ、毎年度、宿題として残しながら、半世紀を過してしまった。

創立50周年記念事業「日本ハンドボール史」の刊行は、辛くも、全国の熱心な“個人の協力”によってカバーできたが、その編集にたずさわった全委員から、日本協会に対し、「今後は、年度単位で記録などをまとめておくように」と強い要望があり、初のイヤーブック（年鑑）の発行となった。

今後は、恒例事業として、内容の充実につとめ、コートに咲いた花々の記録を、より多く、より正しく、より深く改めたいと思っている。

そのためには、各地協会、各全国連盟、各チームが、大少を問わず事業結果（記録）を、日本協会へ送り届けて下さることが欠かせない。

なお、毎年の刊行は、5月末を目標とするのが望ましい。

各位の、今号に関する意見を求めつつ、次回を期したい。

◇編集企画著・荒川清美（日本協会副会長）
◇編集担当理事・川上整司、滝口三郎
◇編集・鴨門義夫（創文企画、日本協会機関誌編集委員）
◇協力・「日本ハンドボール史」元編集委員会（入江信太郎、新井節男、藤本強、岡村昭二、村田弘、水上一、嶋田新太郎、杉山茂、外山准二）。

1987 JAPAN HANDBALL YEARBOOK
（昭和62年度日本ハンドボール年鑑）

1988年7月30日　発行

発行者　安藤純光
発　行　日本法人　日本ハンドボール協会

東京都渋谷区神南1-1-1　岸記念体育会館内
TEL　03-481-2361

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』 第二七六号
昭和四十年六月七日 第三種郵便[illegible]可
昭和六十三年七月 七 日 印刷
昭和六十三年七月二十日 発行
東京都渋谷区神南一－一－一
電話 代表(481)二三六[illegible]
振替 東京 六－一五八三四
編集兼発行人 安藤純光